

MD100Manager

ユーザーマニュアル

User Manual

3.5.9

2023年9月

40903202

目次

1	はじめに	4
2	インストール／アンインストール方法	5
2.1	インストール	5
(1)	インストーラをダウンロードする	5
(2)	インストーラを起動する	5
2.2	MD100Manager がインストールされていたとき	6
(1)	異なるバージョンのインストール時	6
(2)	同じバージョンのインストール時	6
2.3	インストールを実施する	7
2.4	アンインストール	10
3	起動／終了方法	13
3.1	起動	13
3.2	終了	14
4	画面説明	15
4.1	画面	15
4.2	メニュー	18
4.2.1	【ファイル】メニュー	18
(1)	メニュー項目	18
(2)	メニュー操作	19
4.2.2	【ヘルプ】メニュー	22
(1)	メニュー項目	22
(2)	メニュー操作	23
4.3	タスクトレイアイコンの操作	26
(1)	メニュー項目	26
(2)	メニュー操作	27
4.4	環境設定画面	29
5	PC への接続／接続解除方法	30
5.1	PC に接続する	30
5.2	PC から接続解除する	32
6	各種操作	33
6.1	本体に保存している読み取りデータをパソコンに出力する	33
6.2	本体の設定を行う(1)	37
6.3	本体の設定を行う(2)	43
6.3.1	読み取り(コレクト)モード時	43
6.3.2	照合モード時	46
6.4	本体の設定を行う(3)	50
6.5	本体に照合 DB／ピックアップ照合用データを作成する	54
6.5.1	照合 DB／ピックアップ照合用データ作成元ファイル	54
(1)	ファイル形式	54

(2)	長さ制限.....	55
6.5.2	照合 DB を作成する.....	56
6.6	本体にある照合 DB の内容を確認する	64
6.7	本体にあるピックアップ照合用データの内容を確認する	67

1 はじめに

データコレクタを MD100Manager に接続することで、次のことを行うことができます。

- ① データコレクタに保存しているデータをパソコンに出力する
- ② データコレクタの設定内容(スキャナ設定等)を変更する
- ③ データコレクタに照合 DB を作成(新規または追記)する
- ④ データコレクタにピッキング照合用データを作成する*
- ⑤ データコレクタに格納している照合 DB の内容を確認する
- ⑥ データコレクタに格納している照合 DB の内容をパソコンに出力する
- ⑦ データコレクタに格納しているピッキング照合用データの内容を確認する*
- ⑧ データコレクタに格納しているピッキング照合用データの内容をパソコンに出力する*

※ピッキング照合対応アプリ接続時

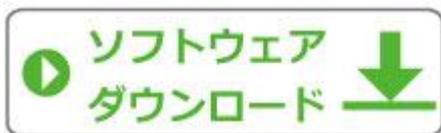
2 インストール／アンインストール方法

2.1 インストール

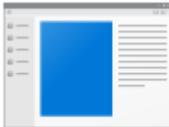
(1) インストーラをダウンロードする

弊社サポートページの「ソフトウェアダウンロード」よりインストーラ (ZIP 形式) をダウンロードします

https://media9.co.jp/m_tuhan/support/



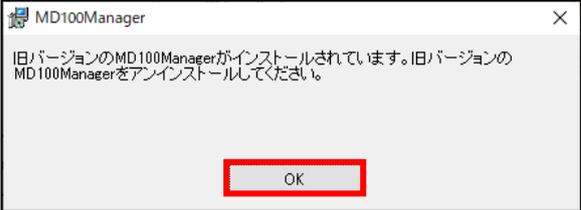
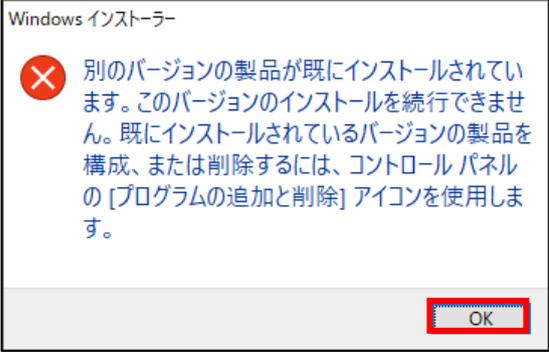
(2) インストーラを起動する

項番	説明	操作イメージ
1.	ダウンロードしたインストーラ (ZIP 形式) をダブルクリックして開きます	 MD100ManagerS etup
2.	開いたフォルダの中にある「setup」をダブルクリックするとインストーラが起動します	 setup

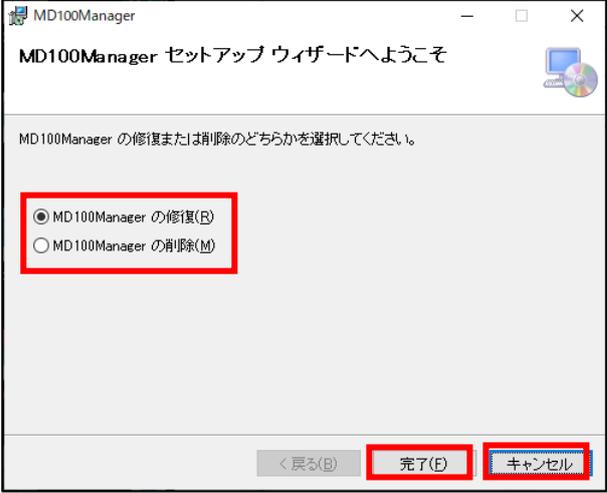
2.2 MD100Manager がインストールされていたとき

ここでは、インストーラ起動時に既に MD100Manager がインストールされていたときの操作について説明します。MD100Manager のインストールは MD100Manager がインストールされていないときに行うことができます。

(1) 異なるバージョンのインストール時

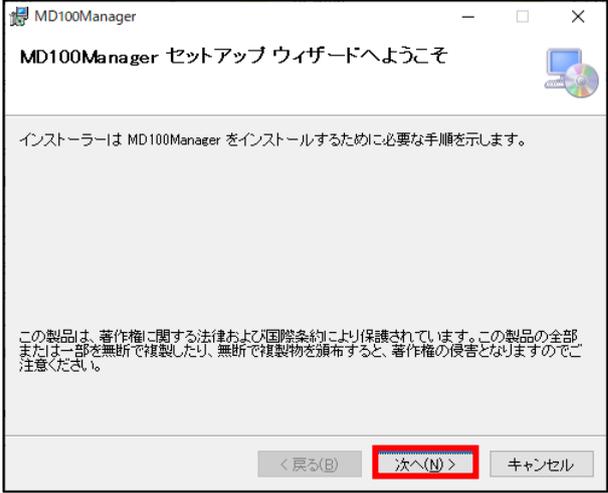
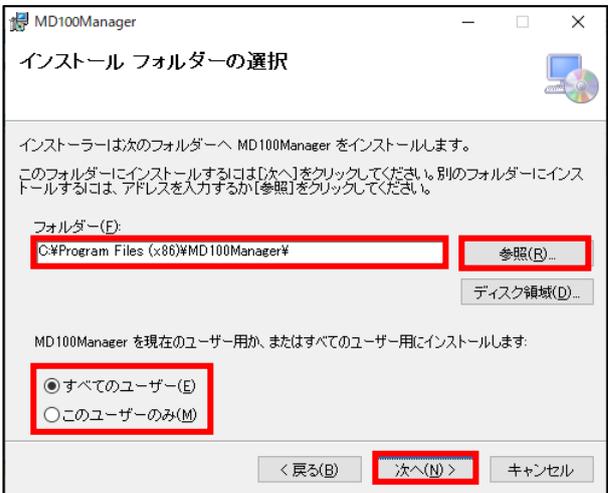
項番	説明	操作イメージ
1.	<p>インストーラ起動時、異なるバージョンの MD100Manager がインストールされていると、インストール済み MD100Manager のアンインストールを促す画面を表示します</p> <p>【OK】ボタンを押して、インストール済み MD100Manager のアンインストールを行います</p> <p>※アンインストールの方法については「2.4 アンインストール」を参照してください</p> <p>アンインストール後、再度インストーラを起動し「2.3 インストールを実施する」を行ってください</p>	 <p>あるいは</p> 

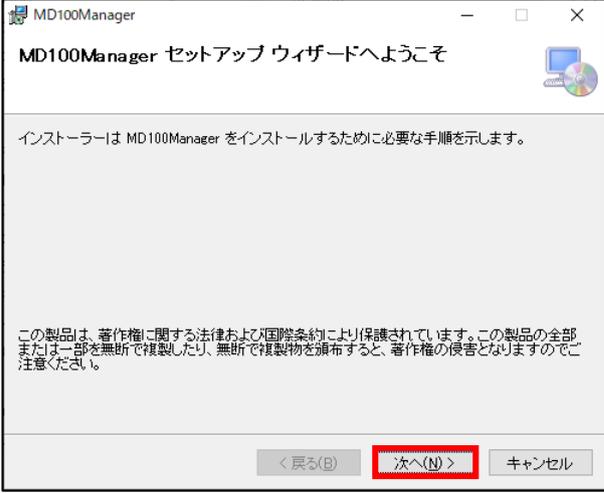
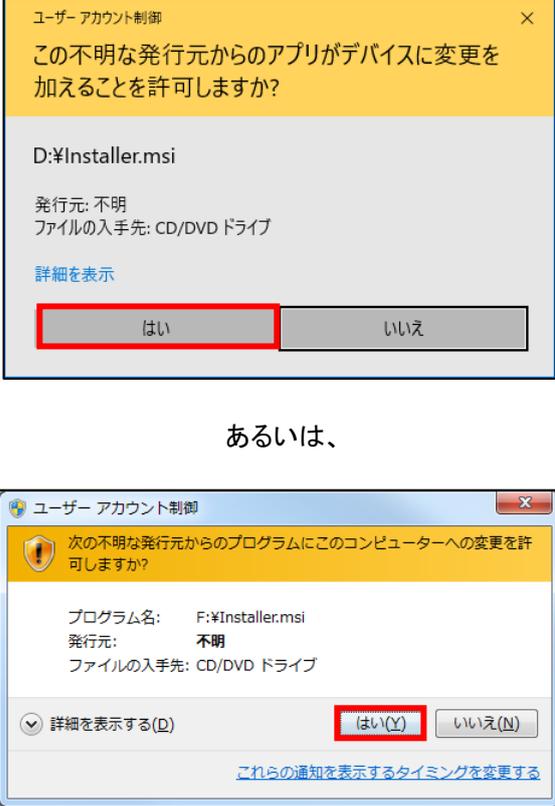
(2) 同じバージョンのインストール時

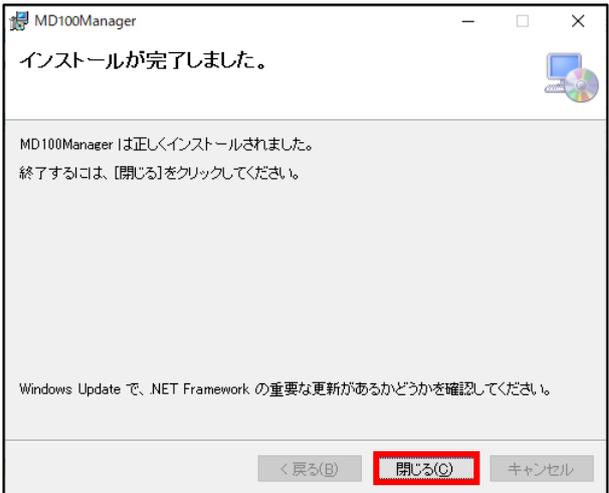
項番	説明	操作イメージ
1.	<p>インストーラ起動時、同じバージョンの MD100Manager がインストールされていると、インストール済み MD100Manager の「修復」あるいは「削除」を促す画面を表示します</p> <p>「修復」あるいは「削除」を選択し【完了】ボタンを押すと、選択した処理を行います</p> <p>画面の指示に従い操作を行ってください</p> <p>※【キャンセル】ボタンを押すとインストールを中止します</p>	

2.3 インストールを実施する

ここでは、MD100Manager がインストールされていない状態でインストーラを起動したときの操作について説明します。

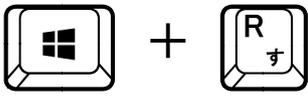
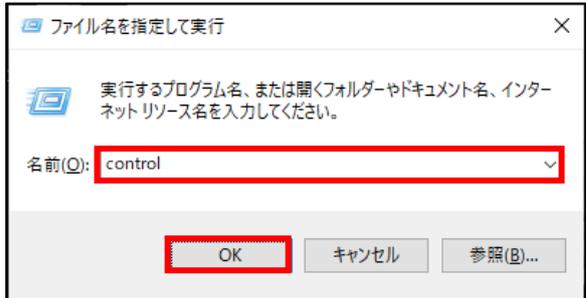
項番	説明	操作イメージ
1.	<p>MD100Manager がインストールされていない状態でインストーラを起動すると、セットアップウィザード開始画面を表示します</p> <p>【次へ】ボタンを押すと、インストールフォルダの選択画面を表示します</p>	
2.	<p>【次へ】ボタンを押します</p> <p>※必要に応じ、インストールフォルダおよび使用するユーザの指定を行ってください</p>	

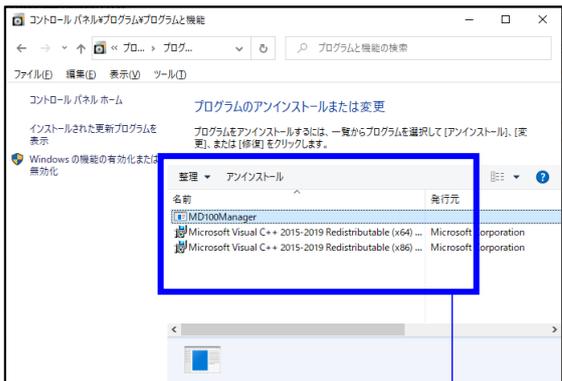
項番	説明	操作イメージ
3.	セットアップウィザードインストール開始画面を表示します 【次へ】ボタンを押します	
4.	ユーザーアカウント制御の画面が表示されたときは、 【はい】 ボタンを押してインストールを継続してください	 <p>あるいは、</p>

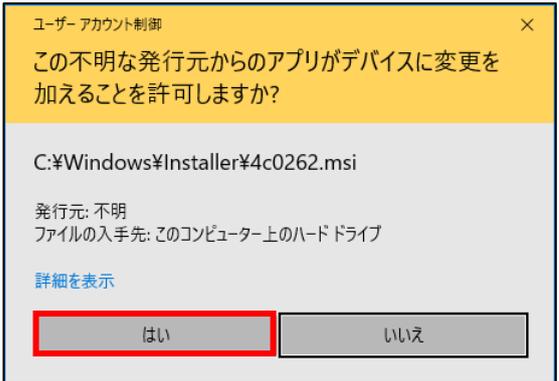
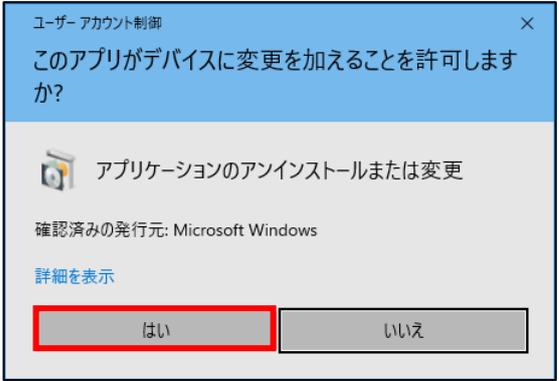
項番	説明	操作イメージ
5.	<p>しばらくするとインストール完了画面を表示します</p> <p>【閉じる】ボタンを押してインストールを終了してください</p>	

2.4 アンインストール

インストール済みの MD100Manager をアンインストールしたいときは、次の操作を行ってください

項番	説明	操作イメージ
1.	 <p>キーを押して、ファイル名を指定して実行ダイアログを表示します</p> <p>名前欄に「control」と入力し【OK】ボタンを押し、コントロールパネルを表示します</p>	
2.	<p>① 表示されたコントロールパネルで、表示形式を「カテゴリ」にします</p> <p>② 「プログラムのアンインストール」をクリックします</p>	 <p>表示方法: カテゴリ ①</p> <p>プログラム プログラムのアンインストール ②</p>

項番	説明	操作イメージ
3.	<p>プログラムと機能ダイアログを表示します</p> <p>① 名前欄から「MD100Manager」を選択します</p> <p>② 「アンインストール」をクリックします</p> <p>表示されるメッセージに従いアンインストールを行うことでアンインストールは完了します</p>	 <p>The screenshot shows the Windows Control Panel window titled 'プログラムと機能'. The 'アンインストール' (Uninstall) button is highlighted with a red box and a circled '2'. The 'MD100Manager' entry in the list is highlighted with a red box and a circled '1'. A blue arrow points from the 'MD100Manager' entry to the 'アンインストール' button.</p>
4.	<p>アンインストール確認ダイアログが表示されたときは【はい】ボタンを押してアンインストールを継続してください</p>	 <p>The screenshot shows a confirmation dialog box titled 'プログラムと機能'. The text reads 'MD100Manager をアンインストールしますか?' (Do you want to uninstall MD100Manager?). At the bottom, there are three buttons: a checkbox for '今後、このダイアログ ボックスを表示しない' (Don't show this dialog box again), a 'はい(Y)' (Yes) button highlighted with a red box, and an 'いいえ(N)' (No) button.</p>

項番	説明	操作イメージ
5.	<p>ユーザアカウント制御の画面が表示されたときは、【はい】ボタンを押してアンインストールを継続してください</p>	 <p>あるいは、</p> 

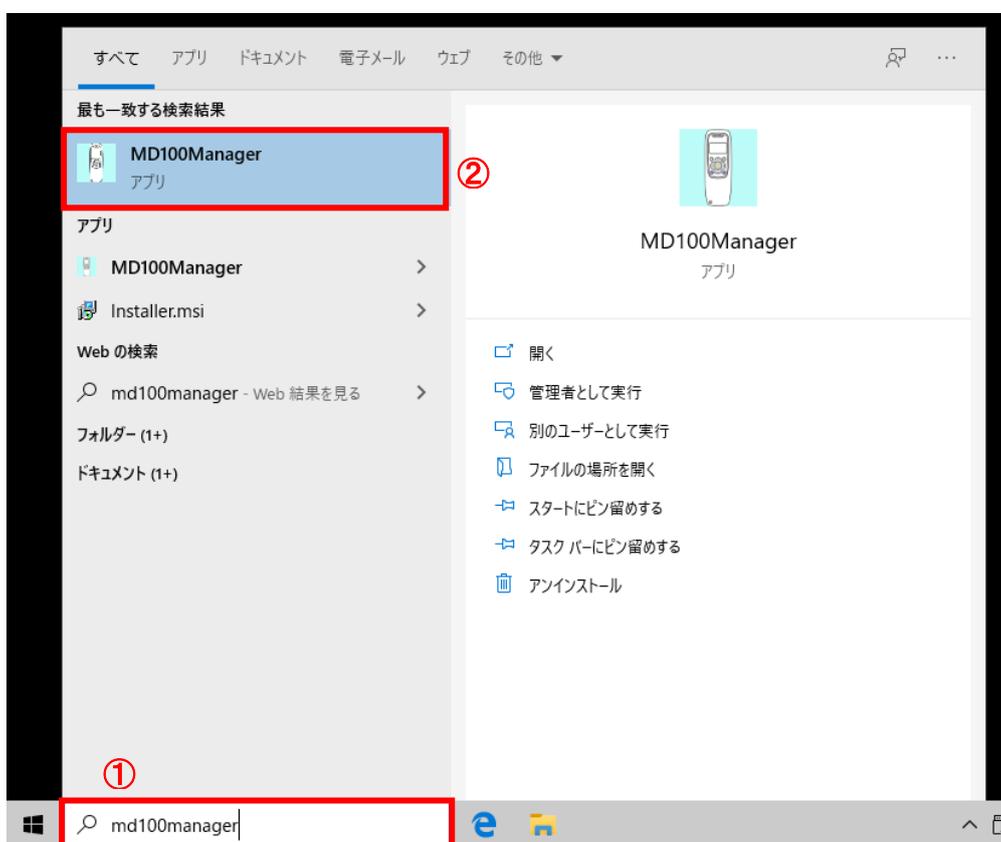
3 起動／終了方法

3.1 起動

デスクトップにある MD100Manager のショートカットをダブルクリックすることで起動することができます。

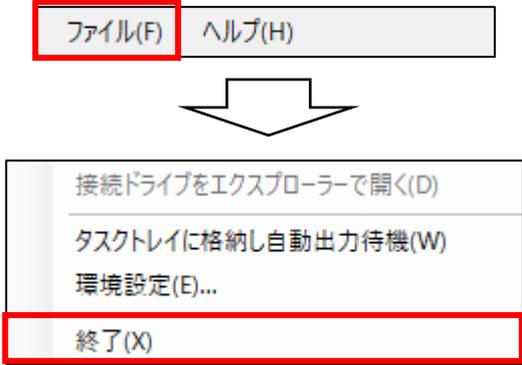
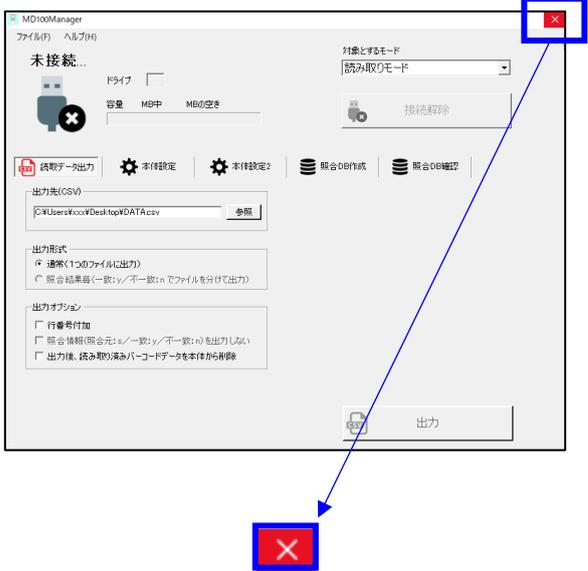
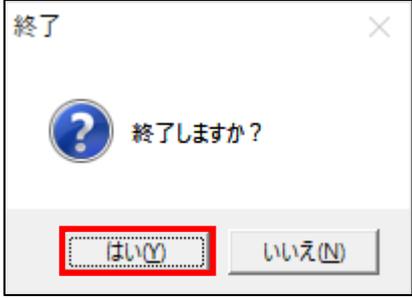


あるいは、検索ボックスに「md100manager」と入力し、検索結果に表示された「MD100Manager」をクリックしても起動することができます。



3.2 終了

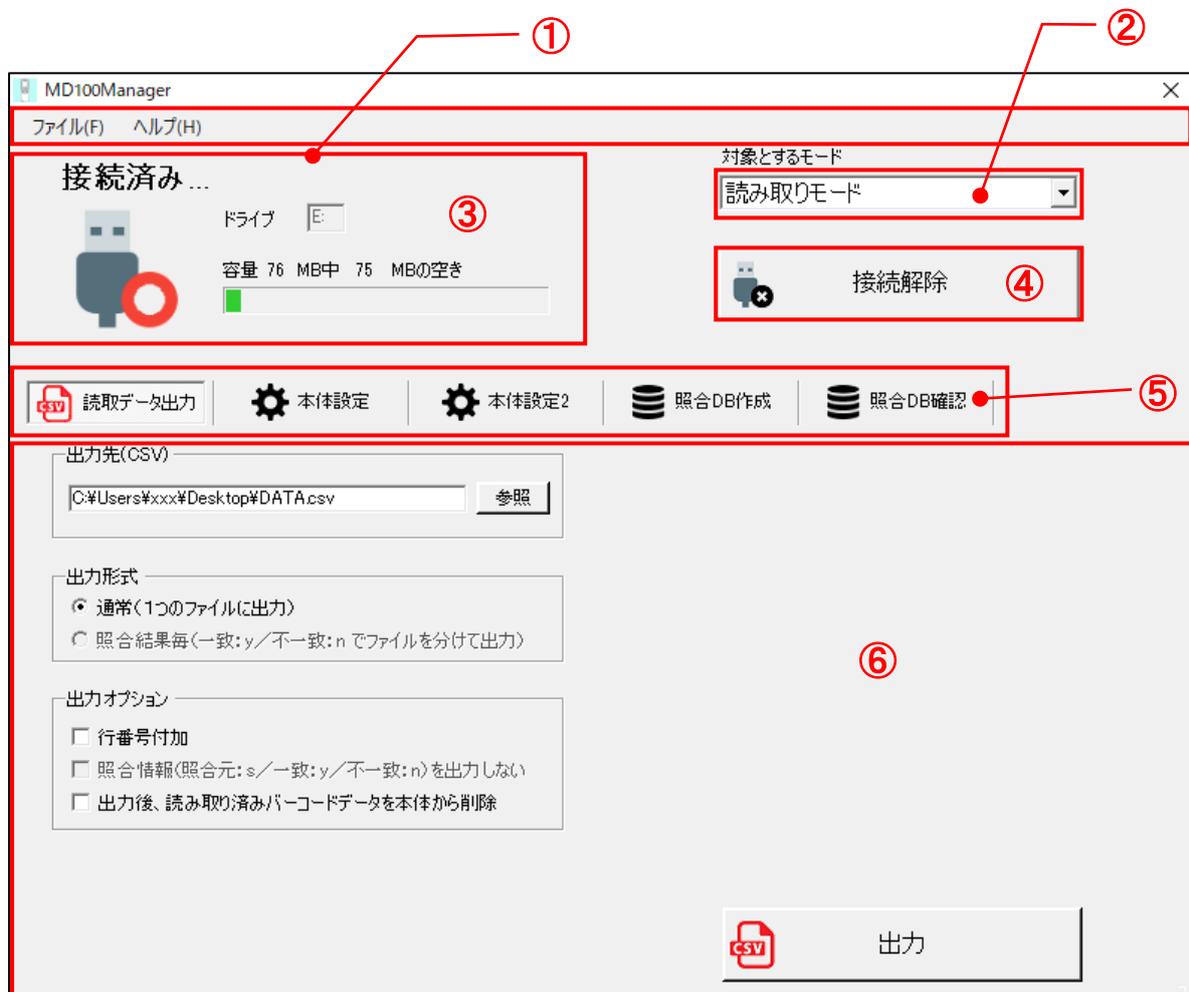
【ファイル】メニューから【終了】をクリックするか、タイトルバー右端にある【閉じる】ボタンをクリックすることでMD100Managerを終了することができます。

項番	説明	操作イメージ
1.	<p>a) 【ファイル】メニューから終了する</p> <p>【ファイル】メニューから【終了】をクリックします</p>	
2.	<p>b) 【閉じる】ボタンから終了する</p> <p>タイトルバーにある【閉じる】ボタンを押します</p>	
3.	<p>表示した終了確認ダイアログで【はい】ボタンを押すとMD100Managerが終了します</p>	

4 画面説明

4.1 画面

画面各部について次に説明します(※下図は MD201/MD202 接続時の例です)。



項番	各部名称	説明
①	メニュー	各種メニューに設定された項目を選択し実行することができます ※詳細については「 4.2 メニュー 」を参照してください
②	モード選択リスト	読み取り(コレクト)モードか照合モードの選択を行います ここで選択したモードは、【読取データ出力】タブ、あるいは【本体設定 2】タブに影響を与えます 上記タブの「⑥ 機能毎内容」には、選択したモードに関する内容を表示するようになります
③	本体接続情報	本体接続情報(接続状態/接続ドライブ/使用サイズ)を表示します また接続状態により、USB アイコンが変化します <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  接続済み </div> <div style="text-align: center;">  未接続 </div> </div>
④	本体接続解除ボタン	接続中本体の接続を解除します

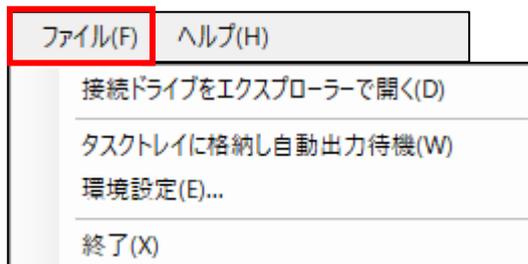
項番	各部名称	説明
⑤	機能毎タブ	<p>各タブを押すと、それぞれの機能の内容を「⑥ 機能毎内容」欄に表示します それぞれのタブには次の機能があります</p> <p>(1) 読取データ出力 本体に保存しているデータを PC に出力します</p> <p>(2) 本体設定 日付付加、ビープ音設定等を設定することができます ここで設定した内容は本体の接続解除後、本体に反映します</p> <p>(3) 本体設定 2 「②モード選択リスト」で選択した、読み取り(コレクト)モードあるいは照合モード専用の設定を行うことができます ここで設定した内容は本体の接続を解除後、本体に反映します</p> <p>(4) 本体設定 3 MD801BC または MD802BC 専用の設定を行うことができます このタブは MD801BC または MD802BC を接続したときに表示します ここで設定した内容は本体の接続を解除後、本体に反映します</p> <p>(5) 照合 DB 作成 CSV ファイルから照合 DB を作成し本体に格納します</p> <p>(6) 照合 DB 確認 本体に格納している照合 DB の内容を確認することができます また、確認した照合 DB の内容を PC に出力することができます</p> <p>(7) ピッキング確認 本体に格納しているピッキング照合用データの内容を確認することができます また、確認したピッキング照合用データの内容を PC に出力することができます</p>
⑥	機能毎内容	選択した機能毎タブに関連する内容を表示します

4.2 メニュー

4.2.1 【ファイル】メニュー

(1) メニュー項目

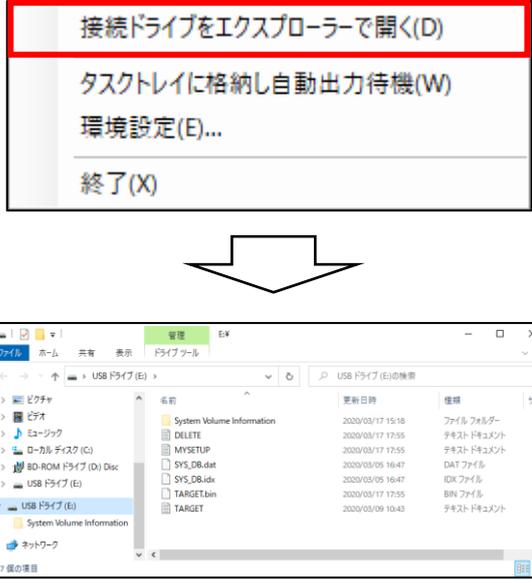
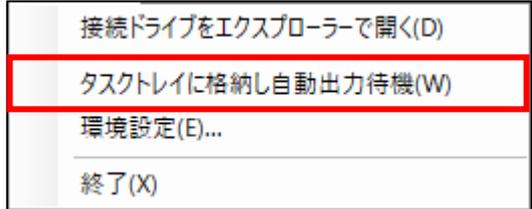
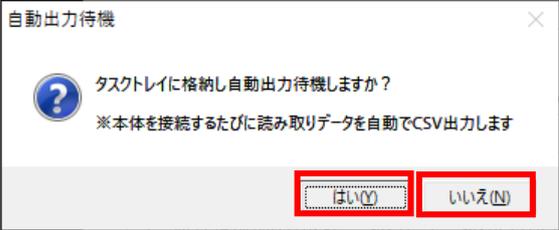
【ファイル】メニューの各項目について次に説明します。

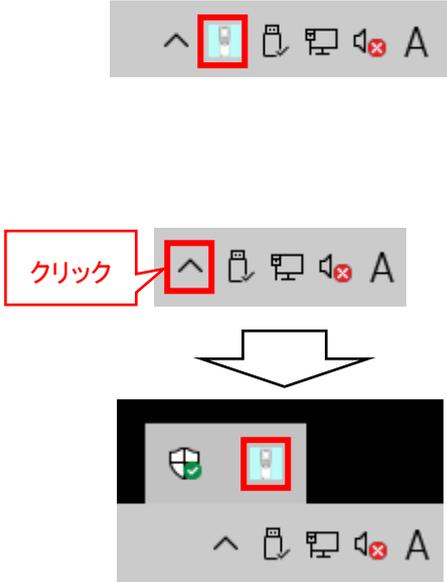
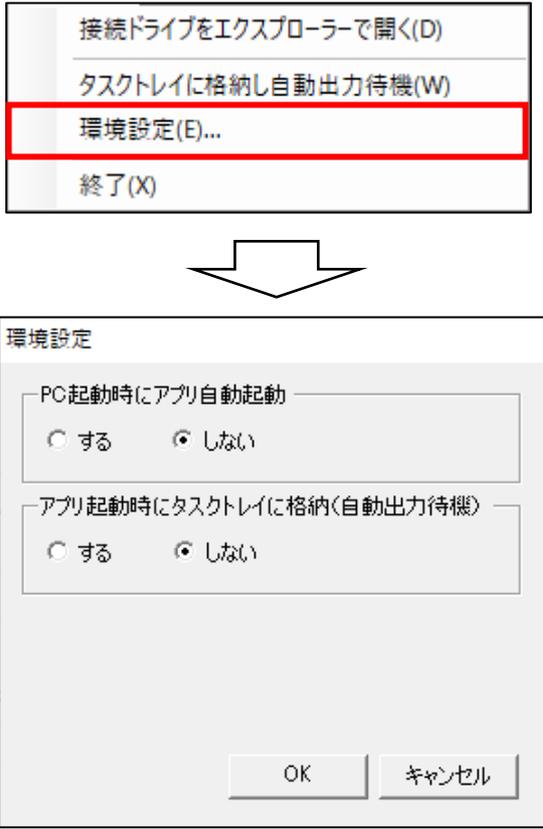


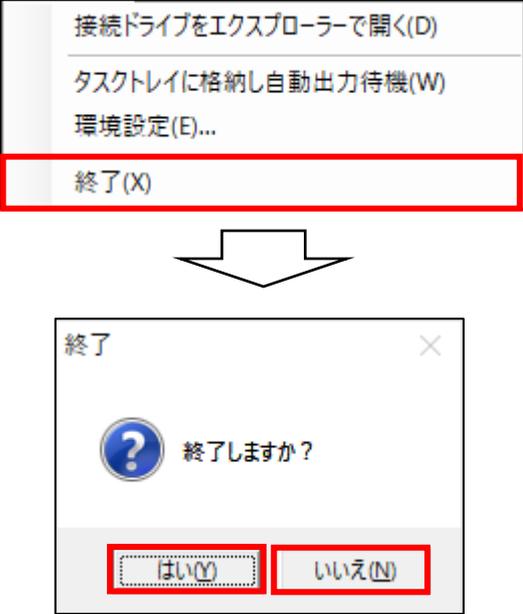
項番	名称	機能
1.	接続ドライブをエクスプローラーで開く	現在接続している本体のドライブをエクスプローラーで開きます ※本体を接続した状態でなければ、本項目を選択することはできません
2.	タスクトレイに格納し自動出力待機	MD100Manager をタスクトレイに格納します  格納した MD100Manager は、本体が接続されると自動で読み取りデータの出力を行います 
3.	環境設定	次の設定を行うことができます (1) PC 起動時にアプリ自動起動 PC 起動時に MD100Manager を自動で起動します (2) アプリ起動時にタスクトレイに格納 MD100Manager をタスクトレイに格納した状態で起動します ※詳細は「 4.4 環境設定画面 」を参照してください
4.	終了	MD100Manager を終了します

(2) メニュー操作

【ファイル】メニューの操作方法について次に説明します。

項番	説明	操作イメージ
1.	<p>a) 接続ドライブをエクスプローラーで開く</p> <p>「接続ドライブをエクスプローラーで開く」を選択すると、現在接続している本体のドライブをエクスプローラーで開くことができます</p> <p>※本体を接続した状態でなければ、本項目を選択することはできません</p>	 <p>接続ドライブをエクスプローラーで開く(D)</p> <p>タスクトレイに格納し自動出力待機(W)</p> <p>環境設定(E)...</p> <p>終了(X)</p>
2.	<p>b) タスクトレイに格納し自動出力待機</p> <p>「タスクトレイに格納し自動出力待機」を選択します</p>	 <p>接続ドライブをエクスプローラーで開く(D)</p> <p>タスクトレイに格納し自動出力待機(W)</p> <p>環境設定(E)...</p> <p>終了(X)</p>
3.	<p>自動出力待機確認画面を表示します</p> <p>【はい】ボタンを押すとタスクトレイにMD100Managerを格納します</p> <p>【いいえ】ボタンを押すとタスクトレイ格納を中止します</p>	 <p>自動出力待機</p> <p>タスクトレイに格納し自動出力待機しますか？</p> <p>※本体を接続するたびに読み取りデータを自動でCSV出力します</p> <p>はい(Y) いいえ(N)</p>

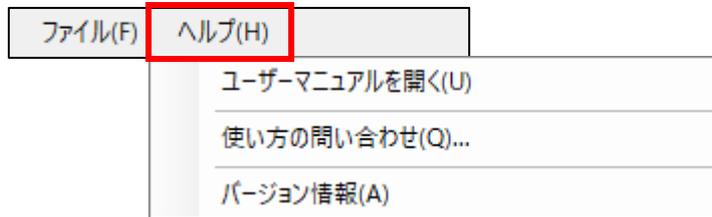
項番	説明	操作イメージ
4.	<p>格納が完了するとタスクトレイに MD100Manager のアイコンを表示します</p> <p>表示されないときはタスクトレイ左側にあるインディケーターの【∧】ボタンをクリックすると、隠れていた MD100Manager アイコンを表示します</p>	
5.	<p>c) 環境設定</p> <p>「環境設定」を選択します</p> <p>環境設定画面を開きます</p>	 <p>※詳細は「4.4 環境設定画面」を参照してください</p>

項番	説明	操作イメージ
6.	<p>d) 終了</p> <p>「終了」を選択します</p> <p>終了確認画面を表示します</p> <p>【はい】ボタンを押すと MD100Manager を終了します</p> <p>【いいえ】ボタンを押すと終了処理を中止します</p>	 <p>The image shows a sequence of two screenshots. The top screenshot is a context menu with the following items: '接続ドライブをエクスプローラーで開く(D)', 'タスクトレイに格納し自動出力待機(W)', '環境設定(E)...', and '終了(X)'. The '終了(X)' item is highlighted with a red border. A large white arrow with a black outline points downwards from this menu to a second screenshot. The second screenshot is a dialog box titled '終了' with a close button (X) in the top right corner. It contains a blue question mark icon and the text '終了しますか?'. At the bottom, there are two buttons: 'はい(Y)' and 'いいえ(N)'. Both buttons are highlighted with red borders.</p>

4.2.2 【ヘルプ】メニュー

(1) メニュー項目

【ヘルプ】メニューの各項目について次に説明します。

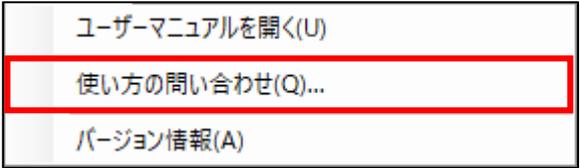


項番	名称	機能
1.	ユーザーマニュアルを開く	MD100Manager のユーザーマニュアル(PDF)を開きます ※PDF に関連付けられているアプリで開きます
2.	使い方の問い合わせ	Web ブラウザを使用し弊社のお問合せフォームがあるページを開きます ※弊社ホームページを表示可能な環境が必要です
3.	バージョン情報	MD100Manager のバージョン情報画面を表示します

(2) メニュー操作

【ヘルプ】メニューの操作方法について次に説明します。

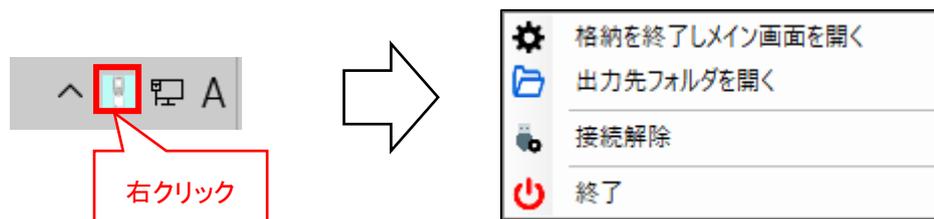
項番	説明	操作イメージ
1.	<p>a) ユーザーマニュアルを開く</p> <p>「ユーザーマニュアルを開く」を選択します</p> <p>MD100Manager のユーザーマニュアル(PDF)が、PDF に関連付けられたアプリで開きます</p>	 <p>The image shows the 'ヘルプ' (Help) menu with three items: 'ユーザーマニュアルを開く(U)' (Open User Manual (U)), '使い方の問い合わせ(Q)...' (Contact Us for Usage (Q)...), and 'バージョン情報(A)' (Version Information (A)). The first item is highlighted with a red box. Below the menu is a downward-pointing arrow. The second part of the image shows a PDF viewer window titled 'MD100Manager ユーザーマニュアル' (MD100Manager User Manual) with a dark blue header bar containing the text 'ユーザーマニュアル' and 'User Manual'.</p>

項番	説明	操作イメージ
2.	<p>b) 使い方の問い合わせ</p> <p>「使い方の問い合わせ」を選択します</p> <p>弊社お問合せページを開いてもよいかを確認する画面を表示します</p> <p>【OK】ボタンを押すとWebブラウザを使用し弊社の「お問合せフォーム」があるページを表示します</p> <p>※弊社ホームページを表示可能な環境が必要です</p> <p>【キャンセル】ボタンを押すと問い合わせ操作を中止します</p>	 <p>↓</p>  <p>↓</p> 

項番	説明	操作イメージ																																
3.	<p>c) バージョン情報</p> <p>「バージョン情報」を選択します</p> <p>MD100Manager のバージョン情報を表示します</p> <p>本体を MD100Manager に接続した状態であれば、【アップデートの確認】ボタンを押すことができます</p> <p>このボタンを押すと接続中本体が利用可能な、MD100Manager のアップデート有無について情報ウィンドウに表示します</p> <p>【OK】ボタンを押すと MD100Manager を終了し、Web ブラウザでアップデートが存在する弊社のサポートページを表示します</p> <p>アップデート(zip 形式)をダウンロードしてください</p> <p>※弊社ホームページを表示可能な環境が必要です</p> <p>インストール済みの MD100Manager をアンインストール後、ダウンロードしたアップデートよりインストールを行ってください</p> <p>【キャンセル】ボタンを押すと情報ウィンドウを閉じます</p>	<p>ユーザーマニュアルを開く(U) 使い方の問い合わせ(Q)... バージョン情報(A)</p> <p>バージョン情報</p> <p>MD100Manager Ver.3.1.1</p> <p>一部のデザインや表現の著作権は POSショッピングストアに帰属します。</p> <p>商品のひな形を使用したものは、 商用目的に使用することは出来ません。</p> <p>アップデートの確認 OK</p> <p>存在しないとき</p> <p>情報</p> <p>アップデートはありません。</p> <p>OK</p> <p>存在するとき</p> <p>情報</p> <p>現在動作しているMD100Manager (Ver)のアップデートが存在します。 Ver 以降のMD100Managerをダウンロードインストールすることができます。</p> <p>※【OK】を押すとアプリを終了しダウンロードページを開きます ※【キャンセル】を押すと処理を継続します</p> <p>OK キャンセル</p> <p>サポートページ</p> <p>バーコードリーダー VirtualCOM・SPPドライバ、ソフトウェア</p> <p>※こちらのドライバはVirtualCOM用のドライバになります。VirtualCOMが動作でバーコードデータを転送するには別途、受電ソフトをご用意頂き、VirtualCOMを対応させる必要があります。 「日本入力用スキャナ」「QRコードツール」に關しましてはVirtualCOMドライバと転送ソフトがセットになっているため、VirtualCOM対応ソフトの準備は不要です。 ※データ転送ソフトが対応しているドライバもございます。「QRcodeTool」や「COMTEXT」が該当します。不備な際はインストールせず、付属のドライバのみをご利用下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分組</th> <th>型番</th> <th>名称</th> <th>ダウンロード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Champtek</td> <td>LG100・LG200</td> <td>VirtualCOMドライバ</td> <td>ダウンロード</td> </tr> <tr> <td>Champtek</td> <td>SD120・SD700・SG100・SG700</td> <td>VirtualCOMドライバ</td> <td>ダウンロード</td> </tr> <tr> <td>Bluetooth:SP</td> <td>MD100BT</td> <td>SPP設定ガイド</td> <td>ダウンロード</td> </tr> <tr> <td>Champtek</td> <td>MD300BT・IG610BT</td> <td>VirtualCOMドライバ (クレードル利用: シリアル通信)</td> <td>ダウンロード</td> </tr> <tr> <td>Champtek製 定番式</td> <td>Mica Libra Sireal Move</td> <td>VirtualCOMドライバ</td> <td>ダウンロード</td> </tr> <tr> <td>MD9シリーズ</td> <td>MD210・MD300シリーズ、MD600、MD630、MD632、MD635、MD208BT、MD300BT、MD701</td> <td>VirtualCOMドライバ</td> <td>ダウンロード</td> </tr> <tr> <td>Champtek 2次元</td> <td>IG710・MD610 ※2014.12.04更新 (初期化コードの変更)</td> <td>日本語入力用 QRコードツール (VCOM転送ソフト)・VirtualCOMドライバ</td> <td>ダウンロード</td> </tr> </tbody> </table>	分組	型番	名称	ダウンロード	Champtek	LG100・LG200	VirtualCOMドライバ	ダウンロード	Champtek	SD120・SD700・SG100・SG700	VirtualCOMドライバ	ダウンロード	Bluetooth:SP	MD100BT	SPP設定ガイド	ダウンロード	Champtek	MD300BT・IG610BT	VirtualCOMドライバ (クレードル利用: シリアル通信)	ダウンロード	Champtek製 定番式	Mica Libra Sireal Move	VirtualCOMドライバ	ダウンロード	MD9シリーズ	MD210・MD300シリーズ、MD600、MD630、MD632、MD635、MD208BT、MD300BT、MD701	VirtualCOMドライバ	ダウンロード	Champtek 2次元	IG710・MD610 ※2014.12.04更新 (初期化コードの変更)	日本語入力用 QRコードツール (VCOM転送ソフト)・VirtualCOMドライバ	ダウンロード
分組	型番	名称	ダウンロード																															
Champtek	LG100・LG200	VirtualCOMドライバ	ダウンロード																															
Champtek	SD120・SD700・SG100・SG700	VirtualCOMドライバ	ダウンロード																															
Bluetooth:SP	MD100BT	SPP設定ガイド	ダウンロード																															
Champtek	MD300BT・IG610BT	VirtualCOMドライバ (クレードル利用: シリアル通信)	ダウンロード																															
Champtek製 定番式	Mica Libra Sireal Move	VirtualCOMドライバ	ダウンロード																															
MD9シリーズ	MD210・MD300シリーズ、MD600、MD630、MD632、MD635、MD208BT、MD300BT、MD701	VirtualCOMドライバ	ダウンロード																															
Champtek 2次元	IG710・MD610 ※2014.12.04更新 (初期化コードの変更)	日本語入力用 QRコードツール (VCOM転送ソフト)・VirtualCOMドライバ	ダウンロード																															

4.3 タスクトレイアイコンの操作

タスクトレイに格納した MD100Manager のアイコンを右クリックすると、操作可能項目の一覧をコンテキストメニューで表示します



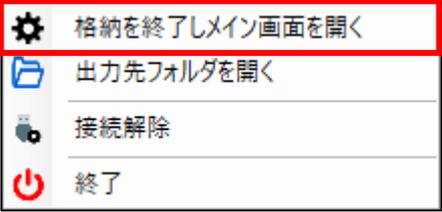
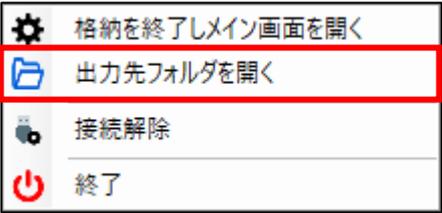
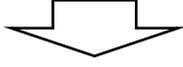
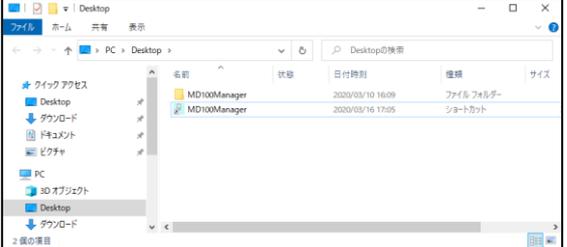
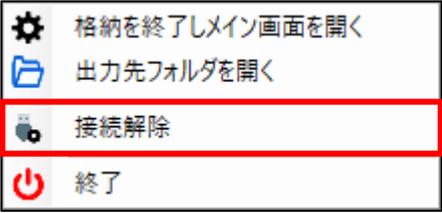
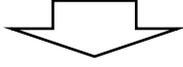
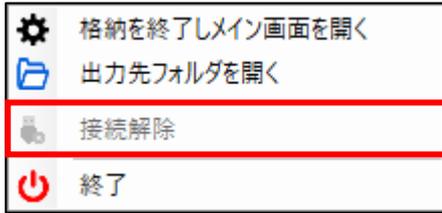
(1) メニュー項目

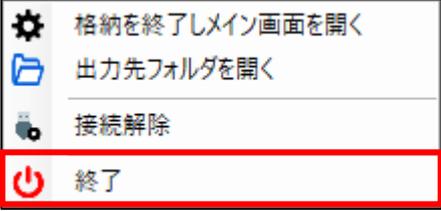
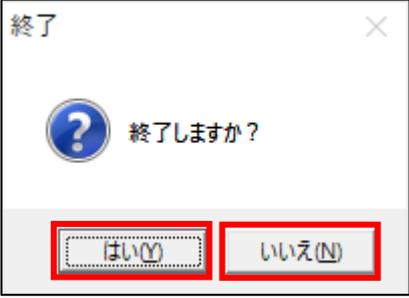
コンテキストメニューの各項目について次に説明します。

項番	名称	機能
1.	格納を終了しメイン画面を開く	タスクトレイ格納を終了し MD100Manager のメイン画面を表示します
2.	出力先フォルダを開く	読み取りデータ出力先として指定しているフォルダをエクスプローラーで開きます
3.	接続解除	PC に USB 接続している本体の接続を解除します
4.	終了	MD100Manager を終了します

(2) メニュー操作

コンテキストメニューの操作方法について次に説明します。

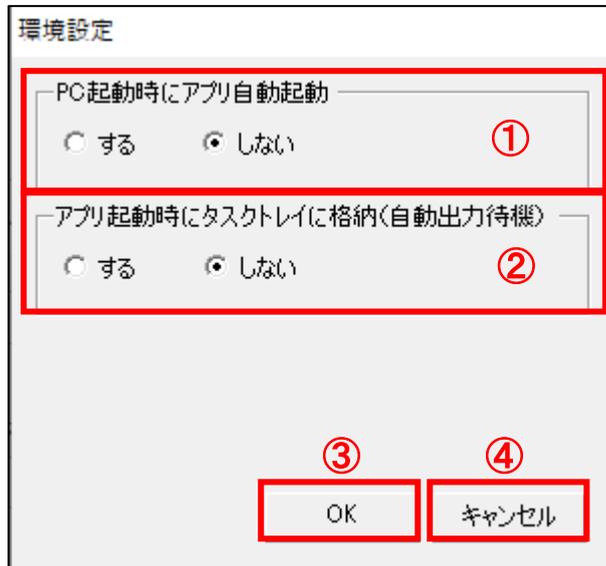
項番	説明	操作イメージ
1.	<p>a) 格納を終了しメイン画面を開く</p> <p>「格納を終了しメイン画面を開く」を選択すると、タスクトレイ格納を終了し MD100Manager のメイン画面を開きます</p>	
2.	<p>b) 出力先フォルダを開く</p> <p>「出力先フォルダを開く」を選択すると、読み取りデータ出力先フォルダとして指定しているフォルダをエクスプローラーで開きます</p>	  
3.	<p>c) 接続解除</p> <p>「接続解除」を選択します ※接続状態でなければ本メニュー項目は選択できません</p> <p>※接続解除を行うと本メニュー項目は選択できなくなります</p>	  

項番	説明	操作イメージ
4.	<p>d) 終了</p> <p>「終了」を選択します</p> <p>終了確認画面を表示します</p> <p>【はい】ボタンを押すと MD100Manager を終了します</p> <p>【いいえ】ボタンを押すと終了処理を中止します</p>	 <p>格納を終了しメイン画面を開く 出力先フォルダを開く 接続解除 終了</p> <p style="text-align: center;">↓</p>  <p>終了</p> <p>終了しますか？</p> <p>はい(Y) いいえ(N)</p>

4.4 環境設定画面

【ファイル】メニューから【環境設定】を選択すると、次の環境設定画面を表示します。

画面各部について次に説明します。

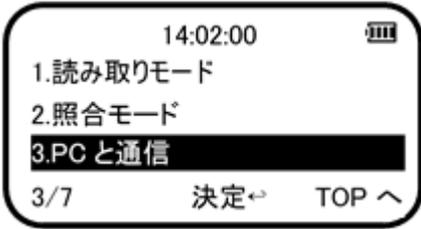


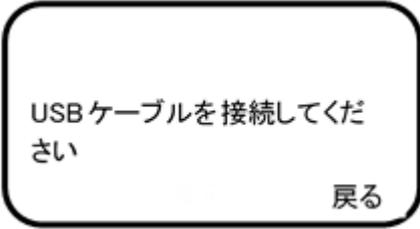
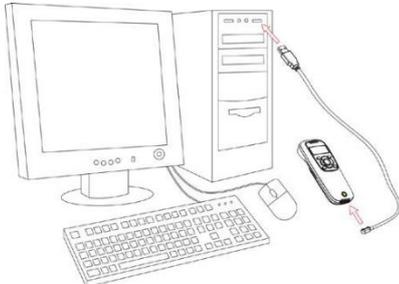
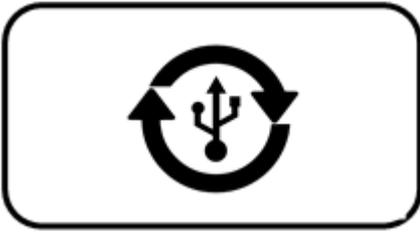
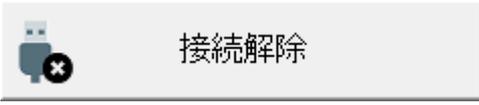
項番	各部名称	説明
①	PC 起動時にアプリ自動起動	PC 起動時に MD100Manager を自動起動するかを指定します する: 自動起動します しない: 自動起動しません ※指定した内容は次回 PC 起動時から有効になります
②	アプリ起動時にタスクトレイに格納	タスクトレイに格納した状態で MD100Manager を起動するかを指定します する: タスクトレイに格納します しない: タスクトレイに格納しません ※指定した内容は次回 MD100Manager 起動時から有効になります
③	OK	①および②で指定した内容を MD100Manager に設定します
④	キャンセル	環境設定処理を中止します

5 PC への接続／接続解除方法

5.1 PC に接続する

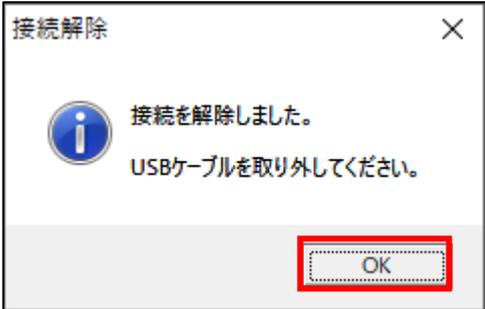
PC(MD100Manager)に本体を接続するには、次の操作を行います。

項番	説明	操作イメージ
1.	<p>MD100Manager を起動します</p> <p>※起動方法については「3.1 起動」を参照してください</p>	
2.	<p>本体の電源を入れ、メインメニューで「PC と通信」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	<p>※MD201／MD202 の場合</p>  <p>※MD801BC／MD802BC の場合</p> 

項番	説明	操作イメージ
3.	USB ケーブル接続待ち画面を表示します 【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	
4.	接続待ち画面が表示された状態で、専用のUSB ケーブルを使い本体と PC を接続します	
5.	USB 接続画面を表示します	
6.	しばらくして MD100Manager の USB アイコンが接続状態に変われば接続は完了です	 <p>※注: 上図は MD201/MD202 接続時の例です</p>
7.	<p>注意事項: 接続解除するには、必ず MD100Manager を使用し【接続解除】ボタンを押し接続解除後に USB ケーブルを取り外してください</p> <p>接続状態で USB ケーブルを取り外すと、本体に保存しているデータ(読み取りデータや設定内容)が壊れることがあるため絶対に行わないでください</p>	

5.2 PC から接続解除する

本体を PC(MD100Manager) から接続解除する方法について、次に記載します。

項番	説明	操作イメージ
8.	<p>本体が接続した状態の MD100Manager で【接続解除】ボタンを押します</p>	 <p>※注: 上図は MD201/MD202 接続時の例です</p>
9.	<p>しばらくして接続解除画面が表示されれば接続解除は完了です USB ケーブルを取り外してください</p> <p>【OK】ボタンを押すと接続解除画面を閉じます</p>	

6 各種操作

各種機能毎タブで行う操作について、次に記載します。

6.1 本体に保存している読み取りデータをパソコンに出力する

【読取データ出力】タブにおける画面各部について、次に説明します（※下図は MD201/MD202 接続時の例です）

出力先(CSV)

① C:\Users\%xxx\Desktop\DATA.csv 参照 ②

出力形式

通常(1つのファイルに出力) ③

照合結果毎(一致:y/不一致:n)でファイルを分けて出力

出力オプション

行番号付加

照合情報(照合元:s/一致:y/不一致:n)を出力しない ④

出力後、読み取り済みバーコードデータを本体から削除

⑤ 出力

項番	各部名称	説明
①	出力先ファイル	<div data-bbox="651 241 1337 369" data-label="Image"> </div> <p>読み取りデータ出力先ファイルを指定します</p> <p>※本欄に手入力で指定することも可能ですが、右隣の【参照】ボタンを使用すると簡単に指定することができます</p> <p>実際に出力するファイル名称は、ここで指定したファイル名称にファイル出力日を付加したものになります(同じ日に複数回ファイル出力すると、ファイル名称の最後の数字を増加し区別します)</p> <p>ファイル名に「Data」を指定し 2020/04/01 にファイル出力した場合： Data20200401_0.csv</p> <p>更に同じ日 2020/04/01 にファイル出力した場合： Data20200401_1.csv</p>
②	参照	<div data-bbox="651 920 1337 1048" data-label="Image"> </div> <p>このボタンを押すと表示される保存先ファイルの選択ダイアログで出力先ファイルを指定することができます</p> <div data-bbox="655 1151 1337 1675" data-label="Image"> </div> <p>(1) 出力先のフォルダを指定します</p> <p>(2) 出力するファイル名称を指定します</p> <p>(3) 【保存】ボタンを押すと指定したフォルダとファイル名称を出力先ファイルとして確定します</p> <p>(4) 【キャンセル】ボタンを押すと出力先ファイル指定を中止します</p>

項番	各部名称	説明
③	出力形式	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>出力形式</p> <p>(1) <input checked="" type="radio"/> 通常(1つのファイルに出力)</p> <p>(2) <input type="radio"/> 照合結果毎(一致:y/不一致:n でファイルを分けて出力)</p> </div> <p>ファイル出力時の形式を指定します</p> <p>(1) 通常 読み取りデータを1つのファイルに出力します</p> <p>(2) 照合結果毎 照合結果(一致/不一致)別に2つのファイルに分けてファイルを出力します(※モード選択で <input type="text" value="照合モード"/> (照合モード) 選択時に指定可能です)</p> <p>・一致のファイル名称例: Data20200401_0.csv</p> <p>・不一致のファイル名称例: Data20200401_0_NoData.csv</p>
④	出力オプション	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>出力オプション</p> <p>(1) <input type="checkbox"/> 行番号付加</p> <p>(2) <input type="checkbox"/> 照合情報(照合元:s/一致:y/不一致:n)を出力しない</p> <p>(3) <input type="checkbox"/> 出力後、読み取り済みバーコードデータを本体から削除</p> </div> <p>ファイル出力時のオプションを指定します</p> <p>(1) 行番号付加 読み取りデータの先頭に行番号(1~)を付加して出力します</p> <p>(2) 照合情報を出力しない 照合情報(:s/:y/:n)の出力を行いません (※モード選択で <input type="text" value="照合モード"/> (照合モード) 選択時に指定可能です)</p> <p>(3) 出力後、読み取り済みバーコードデータを本体から削除 出力後に出力元となった本体保存データを削除します ※二重読み取り禁止判定用データも削除します</p>

項番	各部名称	説明
⑤	出力	<div data-bbox="756 224 1235 322" style="text-align: center;">  出力 </div> <p>本体に保存しているデータを指定したオプションで PC にファイル出力します</p> <p>読み取りデータの管理情報が壊れているときは次のメッセージを表示します</p> <div data-bbox="689 497 1299 936" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: right;">確認 ×</p> <p> 読み取りデータの管理情報が壊れています 次の情報を無視して出力します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体で指示したデータの削除予約 ・出力形式 (※ 1 つのファイルに出力します) ・出力オプション <p>よろしいですか？</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> (1) (2) </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> <input type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いいえ(N)"/> </div> </div> <p>(1) ファイル出力を行います 読み取りデータの管理情報が壊れているため次の情報を無視して出力します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体で指示したデータの削除予約 ・出力形式(項番③参照 ※1つのファイルに出力します) ・出力オプション(項番④参照) <p>出力が完了すると次のメッセージを表示します</p> <div data-bbox="622 1352 1369 1653" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: right;">確認 ×</p> <p> 出力が完了しました</p> <p>【接続解除】ボタンで接続解除後、本体メニューの「ファイル操作」→「初期化」で読み取りデータをクリアし、壊れた管理情報を修復してください</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <input type="button" value="OK"/> </div> </div> <p>【接続解除】ボタンで接続解除後に、本体メニューの「ファイル操作」→「初期化」で読み取りデータをクリアし、壊れた管理情報を修復してください</p> <p>(2) ファイル出力を中止します</p>

6.2 本体の設定を行う(1)

【本体設定】タブにおける画面各部について、次に説明します(※下図は MD201/MD202 接続時の例です)

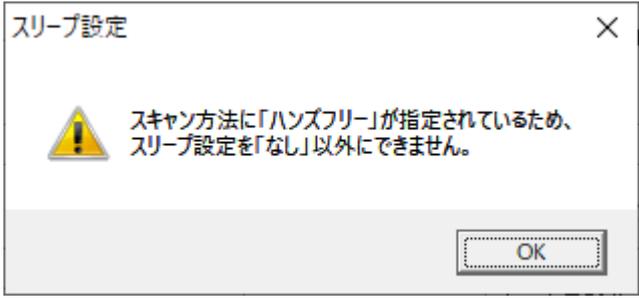
CSV 読取データ出力 **本体設定** 本体設定2 照合DB作成 照合DB確認

確認送信 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 ① 説明	バックライト点灯時間 <input type="radio"/> 10秒 <input checked="" type="radio"/> 30秒 <input type="radio"/> 60秒 <input type="radio"/> 常時 ⑧ 説明
日付付加 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 ② 説明	スリープ設定 <input type="radio"/> 1分 <input checked="" type="radio"/> 5分 <input type="radio"/> 10分 <input type="radio"/> なし ⑨ 説明
時刻付加 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 ③ 説明	ビープ音設定 <input type="radio"/> 大 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 小 <input type="radio"/> なし ⑩ 説明
スキャン方法 <input checked="" type="radio"/> トリガー <input type="radio"/> グッドリード <input type="radio"/> オートスキャン <input type="radio"/> ハンズフリー ④ 説明	パイプ設定 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 ⑪ 説明
本体番号付加 <input type="radio"/> 本体番号 <input type="text"/> <input checked="" type="radio"/> 無効 ⑤ 説明	バーコードを「」で囲む <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 ⑫ 説明
バーコードシンボル付加 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 ⑥ 説明	
DB関連データ付加 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 ⑦ 説明	
	設定予約 ⑬

項番	各部名称	説明						
①	確認送信	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 確認送信 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 </div> <p>バーコード読み取り後に本確認を行うかどうかを指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>確認送信を有効にします</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>確認送信を無効にします</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	確認送信を有効にします	無効	確認送信を無効にします
値	内容							
有効	確認送信を有効にします							
無効	確認送信を無効にします							
②	日付付加	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 日付付加 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 </div> <p>バーコードデータ保存時に日付を付加するか指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>日付を付加します</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>日付を付加しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	日付を付加します	無効	日付を付加しません
値	内容							
有効	日付を付加します							
無効	日付を付加しません							
③	時刻付加	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 時刻付加 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 </div> <p>バーコードデータ保存時に時刻を付加するか指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>時刻を付加します</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>時刻を付加しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	時刻を付加します	無効	時刻を付加しません
値	内容							
有効	時刻を付加します							
無効	時刻を付加しません							

項番	各部名称	説明										
④	スキャン方法	<div data-bbox="657 241 1332 315" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> スキャン方法 <input checked="" type="radio"/> トリガー <input type="radio"/> グッドリード <input type="radio"/> オートスキャン <input type="radio"/> ハンズフリー </div> <p>バーコードスキャン時の方法を指定します</p> <table border="1" data-bbox="564 427 1422 1518"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffffcc;">値</th> <th style="background-color: #ffffcc;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トリガー</td> <td>スキャンボタンを押している間照射します</td> </tr> <tr> <td>グッドリード</td> <td>スキャンボタンを押すと一定時間照射します</td> </tr> <tr> <td>オートスキャン</td> <td>連続照射します(スキャンボタンを押す必要はありません) ※2D モデル接続時は選択できません</td> </tr> <tr> <td>ハンズフリー</td> <td>バーコードをかざすと自動照射します(スキャンボタンを押す必要はありません) ※1D モデル接続時は選択できません ※データコレクタのアプリバージョン 3.0.1 以降で選択できます(アプリバージョンの確認方法はデータコレクタのマニュアルを参照してください) ※スリープ設定が「なし」以外のときに指定すると次の画面を表示します</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="831 1104 1406 1317" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: right;">確認 ×</p> <p style="text-align: center;">  ハンズフリーはスリープ設定が「なし」のときに指定できます スリープ設定を「なし」に変更後、ハンズフリーに設定してもよろしいですか？ </p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いいえ(N)"/> </p> </div> <p>【はい】を押すとスリープ設定を「なし」に変更後、ハンズフリーに設定します 【いいえ】を押すとハンズフリー設定を中止します</p>	値	内容	トリガー	スキャンボタンを押している間照射します	グッドリード	スキャンボタンを押すと一定時間照射します	オートスキャン	連続照射します(スキャンボタンを押す必要はありません) ※2D モデル接続時は選択できません	ハンズフリー	バーコードをかざすと自動照射します(スキャンボタンを押す必要はありません) ※1D モデル接続時は選択できません ※データコレクタのアプリバージョン 3.0.1 以降で選択できます(アプリバージョンの確認方法はデータコレクタのマニュアルを参照してください) ※スリープ設定が「なし」以外のときに指定すると次の画面を表示します
値	内容											
トリガー	スキャンボタンを押している間照射します											
グッドリード	スキャンボタンを押すと一定時間照射します											
オートスキャン	連続照射します(スキャンボタンを押す必要はありません) ※2D モデル接続時は選択できません											
ハンズフリー	バーコードをかざすと自動照射します(スキャンボタンを押す必要はありません) ※1D モデル接続時は選択できません ※データコレクタのアプリバージョン 3.0.1 以降で選択できます(アプリバージョンの確認方法はデータコレクタのマニュアルを参照してください) ※スリープ設定が「なし」以外のときに指定すると次の画面を表示します											

項番	各部名称	説明								
⑤	本体番号付加	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本体番号付加 <input type="radio"/> 本体番号 <input checked="" type="radio"/> 無効 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 150px; margin-top: -10px;"> 本体番号入力欄 </div> <p>バーコードデータ保存時に本体番号を付加するか指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">値</th> <th style="background-color: #ffff00;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体番号</td> <td>本体番号を付加します</td> </tr> <tr> <td>本体番号入力欄</td> <td>本体番号を入力します ※本体番号には <u>1~999</u> の番号を入力できます</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>本体番号を付加しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	本体番号	本体番号を付加します	本体番号入力欄	本体番号を入力します ※本体番号には <u>1~999</u> の番号を入力できます	無効	本体番号を付加しません
値	内容									
本体番号	本体番号を付加します									
本体番号入力欄	本体番号を入力します ※本体番号には <u>1~999</u> の番号を入力できます									
無効	本体番号を付加しません									
⑥	バーコードシンボル付加	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> バーコードシンボル付加 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 </div> <p>バーコードデータ保存時にバーコードシンボル(JAN-13、QR Code 等)を付加するか指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">値</th> <th style="background-color: #ffff00;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>バーコードシンボルを付加します</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>バーコードシンボルを付加しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	バーコードシンボルを付加します	無効	バーコードシンボルを付加しません		
値	内容									
有効	バーコードシンボルを付加します									
無効	バーコードシンボルを付加しません									
⑦	DB 関連データ付加 ※DB 関連データ付加対応 アプリ使用時に使用可	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> DB関連データ付加 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 </div> <p>バーコードデータ保存時に DB 関連データを付加するか指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">値</th> <th style="background-color: #ffff00;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>DB 関連データを付加します</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>DB 関連データを付加しません</td> </tr> </tbody> </table> <p>※DB 関連データについては「<u>6.5.1 照合 DB/ピッキング照合用データ作成元ファイル</u>」を参照してください</p>	値	内容	有効	DB 関連データを付加します	無効	DB 関連データを付加しません		
値	内容									
有効	DB 関連データを付加します									
無効	DB 関連データを付加しません									

項番	各部名称	説明										
⑧	バックライト点灯時間	<div style="text-align: center;">  </div> <p>バックライトの点灯時間を指定します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 秒</td> <td>未操作状態が 10 秒続くと消灯します</td> </tr> <tr> <td>30 秒</td> <td>未操作状態が 30 秒続くと消灯します</td> </tr> <tr> <td>60 秒</td> <td>未操作状態が 60 秒続くと消灯します</td> </tr> <tr> <td>常時</td> <td>常時点灯します(消灯しません)</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	10 秒	未操作状態が 10 秒続くと消灯します	30 秒	未操作状態が 30 秒続くと消灯します	60 秒	未操作状態が 60 秒続くと消灯します	常時	常時点灯します(消灯しません)
値	内容											
10 秒	未操作状態が 10 秒続くと消灯します											
30 秒	未操作状態が 30 秒続くと消灯します											
60 秒	未操作状態が 60 秒続くと消灯します											
常時	常時点灯します(消灯しません)											
⑨	スリープ設定	<div style="text-align: center;">  </div> <p>スリープモードに入るまでの時間を指定します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 分(*)</td> <td>未操作状態が 1 分続くとスリープモードに入ります</td> </tr> <tr> <td>5 分(*)</td> <td>未操作状態が 5 分続くとスリープモードに入ります</td> </tr> <tr> <td>10 分(*)</td> <td>未操作状態が 10 分続くとスリープモードに入ります</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>スリープモードに入りません</td> </tr> </tbody> </table> <p>*スキャン方法が「ハンズフリー」でないときに指定できます 「ハンズフリー」のときに指定すると次の画面を表示します</p> <div style="text-align: center;">  </div>	値	内容	1 分(*)	未操作状態が 1 分続くとスリープモードに入ります	5 分(*)	未操作状態が 5 分続くとスリープモードに入ります	10 分(*)	未操作状態が 10 分続くとスリープモードに入ります	なし	スリープモードに入りません
値	内容											
1 分(*)	未操作状態が 1 分続くとスリープモードに入ります											
5 分(*)	未操作状態が 5 分続くとスリープモードに入ります											
10 分(*)	未操作状態が 10 分続くとスリープモードに入ります											
なし	スリープモードに入りません											

項番	各部名称	説明										
⑩	ビープ音設定	<div style="text-align: center;">  </div> <p>ビープ音を設定します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大</td> <td>ビープ音を「大」にします</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>ビープ音を「中」にします</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>ビープ音を「小」にします</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>ビープ音を「なし」にします</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	大	ビープ音を「大」にします	中	ビープ音を「中」にします	小	ビープ音を「小」にします	なし	ビープ音を「なし」にします
値	内容											
大	ビープ音を「大」にします											
中	ビープ音を「中」にします											
小	ビープ音を「小」にします											
なし	ビープ音を「なし」にします											
⑪	バイブ設定	<div style="text-align: center;">  </div> <p>バイブの使用有無を設定します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>バイブを使用します</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>バイブを使用しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	バイブを使用します	無効	バイブを使用しません				
値	内容											
有効	バイブを使用します											
無効	バイブを使用しません											
⑫	バーコードを「”」で囲む	<div style="text-align: center;">  </div> <p>バーコードデータを「”」(ダブルクォート)で囲んで保存するかを設定します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>「”」(ダブルクォート)で囲みます</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>「”」(ダブルクォート)で囲みません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	「”」(ダブルクォート)で囲みます	無効	「”」(ダブルクォート)で囲みません				
値	内容											
有効	「”」(ダブルクォート)で囲みます											
無効	「”」(ダブルクォート)で囲みません											
⑬	設定予約	<div style="text-align: center;">  </div> <p>【本体設定】タブの内容を本体に反映するよう予約します ※本体への反映は【接続解除】ボタン  を押し接続解除したあとに行います</p>										

6.3 本体の設定を行う(2)

6.3.1 読み取り(コレクト)モード時

対象とするモードが「読み取りモード」時、【本体設定 2】タブにおける画面各部について、次に説明します
(※下図は MD201/MD202 接続時の例です)

対象とするモード
読み取りモード

あるいはコレクトモード

対象とするモード
コレクトモード

CSV 読取データ出力 本体設定 本体設定2 照合DB作成 照合DB確認

読み取りモード

レポート保存・個数付加 (回数/個数入力)
 無効 レポート保存 個数付加 [説明](#) ①

データベース参照
 有効 無効 [説明](#) ②

二重読み取り禁止
 有効 無効 [説明](#) ③

バーコード読み取り時の文字エンコード
 Shift-JIS UTF-8 [説明](#) ④

設定予約 ⑤

項番	各部名称	説明								
①	レポート保存・個数付加	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> レポート保存・個数付加 (回数/個数入力) <input type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> レポート保存 <input checked="" type="radio"/> 個数付加 </div> <p>バーコードデータをレポート保存する回数またはバーコードデータ保存時に個数を付加するか指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無効</td> <td>無効です(レポート保存も個数付加も行いません)</td> </tr> <tr> <td>レポート保存</td> <td>バーコードデータをレポート保存(読み取りデータを指定回数分保存)します</td> </tr> <tr> <td>個数付加</td> <td>バーコードデータ保存時に個数を付加します</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	無効	無効です(レポート保存も個数付加も行いません)	レポート保存	バーコードデータをレポート保存(読み取りデータを指定回数分保存)します	個数付加	バーコードデータ保存時に個数を付加します
値	内容									
無効	無効です(レポート保存も個数付加も行いません)									
レポート保存	バーコードデータをレポート保存(読み取りデータを指定回数分保存)します									
個数付加	バーコードデータ保存時に個数を付加します									
②	データベース参照	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> データベース参照 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 </div> <p>読み取り時におけるデータベース参照の有無を指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>データベースを参照します</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>データベースを参照しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	データベースを参照します	無効	データベースを参照しません		
値	内容									
有効	データベースを参照します									
無効	データベースを参照しません									
③	二重読み取り禁止	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 二重読み取り禁止 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 </div> <p>読み取り時における二重読み取り判定の有無を指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>二重読み取り判定を行います</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>二重読み取り判定を行いません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	二重読み取り判定を行います	無効	二重読み取り判定を行いません		
値	内容									
有効	二重読み取り判定を行います									
無効	二重読み取り判定を行いません									

項番	各部名称	説明						
④	バーコード読み取り時の文字エンコード ※バージョン 3.1.1 以降のアプリ使用時に使用可	<div data-bbox="662 224 1332 324" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> バーコード読み取り時の文字エンコード <input checked="" type="radio"/> Shift-JIS <input type="radio"/> UTF-8 説明 </div> <p>バーコード読み取り時の文字エンコードを指定します(ここで指定した内容は照合モードでも有効です)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">値</th> <th style="background-color: #ffff00;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Shift-JIS</td> <td>Shift-JIS のバーコードとして読み取りを行います</td> </tr> <tr> <td>UTF-8</td> <td>UTF-8 のバーコードとして読み取りを行います</td> </tr> </tbody> </table> <p>※照合 DB と異なる文字エンコードに設定しようとすると、DB 照合／参照において漢字等を含むバーコードデータを正常に扱えないため、次の画面を表示します</p> <div data-bbox="662 840 1324 1108" style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>文字エンコード</p> <p>「Shift-JIS」は照合DBの文字エンコード「UTF-8」と異なるため、DB照合／参照を正常に行えません。 よろしいですか?</p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いい(N)"/> </p> </div> <p style="text-align: center;">または</p> <div data-bbox="662 1243 1324 1512" style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>文字エンコード</p> <p>「UTF-8」は照合DBの文字エンコード「Shift-JIS」と異なるため、DB照合／参照を正常に行えません。 よろしいですか?</p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いい(N)"/> </p> </div> <p>【はい】を押すと指定した文字エンコードに設定します 【いいえ】を押すと設定処理を中止します</p>	値	内容	Shift-JIS	Shift-JIS のバーコードとして読み取りを行います	UTF-8	UTF-8 のバーコードとして読み取りを行います
値	内容							
Shift-JIS	Shift-JIS のバーコードとして読み取りを行います							
UTF-8	UTF-8 のバーコードとして読み取りを行います							
⑤	設定予約	<div data-bbox="758 1724 1228 1825" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> 設定予約 </div> <p>【本体設定 2】タブの内容を本体に反映するよう予約します ※本体への反映は【接続解除】ボタン を押し接続解除したあとに行います</p>						

6.3.2 照合モード時

対象とするモードが「照合モード」
で、次に説明します
(※下図は MD201/MD202 接続時の例です)

対象とするモード
照合モード

時、【本体設定 2】タブにおける画面各部について

項番	各部名称	説明										
①	照合方法	<div data-bbox="678 257 1311 358" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 照合方法 <input checked="" type="radio"/> 1対1 <input type="radio"/> 1対N <input type="radio"/> DB <input type="radio"/> ピッキング 説明 </div> <p>照合方法を指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 対 1</td> <td>1 対 1 照合を行います</td> </tr> <tr> <td>1 対 N</td> <td>1 対 N 照合を行います</td> </tr> <tr> <td>DB</td> <td>DB 照合を行います</td> </tr> <tr> <td>ピッキング</td> <td>ピッキング照合を行います ※ピッキング照合に対応した本体接続時に選択できません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	1 対 1	1 対 1 照合を行います	1 対 N	1 対 N 照合を行います	DB	DB 照合を行います	ピッキング	ピッキング照合を行います ※ピッキング照合に対応した本体接続時に選択できません
値	内容											
1 対 1	1 対 1 照合を行います											
1 対 N	1 対 N 照合を行います											
DB	DB 照合を行います											
ピッキング	ピッキング照合を行います ※ピッキング照合に対応した本体接続時に選択できません											
②	照合元カラム設定	<div data-bbox="630 851 1311 1227" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 照合元カラム設定 説明 (1) コード左から照合開始桁指定 説明 (2) 1 桁目～ (3) 0 桁分を照合する※  (4) ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ </div> <p>照合元のカラム(照合範囲)を指定します</p> <p>(1) 開始桁指定方法 開始桁をバーコードの左／右どちらで指定するかを、次の項目から指定します</p> <p style="margin-left: 20px;">a) コード左から照合開始桁を指定 b) コード右から照合開始桁を指定</p> <p>(2) 開始桁 開始桁位置を指定します ※「(1) 開始桁指定方法」で指定した方向(左／右)から数えた開始桁位置を指定します</p> <p>(3) 照合桁数 「(2) 開始桁」で指定した位置から照合対象とする桁数を指定します ※「0」を指定すると「(2) 開始桁」で指定した位置以降すべてが照合対象となります</p> <p>(4) 照合範囲イメージサンプル 「A～Z の 26 文字のバーコードだった場合」に、(1)～(3)の指定内容で照合対象となる箇所を黄色でサンプル表示します</p>										

項番	各部名称	説明
③	照合先カラム設定	<div data-bbox="683 219 1342 595" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">照合先カラム設定 説明</p> <p>(1) コード左から照合開始桁指定 ▼</p> <p>(2) 1 桁目～</p> <p>(3) 0 桁分を照合する※</p>  <p>(4) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ</p> </div> <p>照合先のカラム(照合範囲)を指定します</p> <p>(1) 開始桁指定方法 開始桁をバーコードの左／右どちらで指定するかを、次の項目から指定します</p> <p style="margin-left: 20px;">a) コード左から照合開始桁を指定 b) コード右から照合開始桁を指定</p> <p>(2) 開始桁 開始桁位置を指定します ※「(1) 開始桁指定方法」で指定した方向(左／右)から数えた開始桁位置を指定します</p> <p>(3) 照合桁数 「(2) 開始桁」で指定した位置から照合対象とする桁数を指定します ※「0」を指定すると「(2) 開始桁」で指定した位置以降すべてが照合対象となります</p> <p>(4) 照合範囲イメージサンプル 「A～Z の 26 文字のバーコードだった場合」に、(1)～(3)の指定内容で照合対象となる箇所を黄色でサンプル表示します</p>

項番	各部名称	説明						
④	バーコード読み取り時の文字エンコード ※バージョン 3.1.1 以降のアプリ接続時に設定可	<div data-bbox="662 224 1332 324" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> バーコード読み取り時の文字エンコード <input checked="" type="radio"/> Shift-JIS <input type="radio"/> UTF-8 説明 </div> <p>バーコード読み取り時の文字エンコードを指定します(ここで指定した内容は読み取り(コレクト)モードでも有効です)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">値</th> <th style="background-color: #ffff00;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Shift-JIS</td> <td>Shift-JIS のバーコードとして読み取りを行います</td> </tr> <tr> <td>UTF-8</td> <td>UTF-8 のバーコードとして読み取りを行います</td> </tr> </tbody> </table> <p>※照合 DB と異なる文字エンコードに設定しようすると、DB 照合／参照において漢字等を含むバーコードデータを正常に扱えないため、次の画面を表示します</p> <div data-bbox="662 840 1324 1108" style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>文字エンコード</p> <p>「Shift-JIS」は照合DBの文字エンコード「UTF-8」と異なるため、DB照合／参照を正常に行えません。 よろしいですか?</p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いい(N)"/> </p> </div> <p style="text-align: center;">または</p> <div data-bbox="662 1243 1324 1512" style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>文字エンコード</p> <p>「UTF-8」は照合DBの文字エンコード「Shift-JIS」と異なるため、DB照合／参照を正常に行えません。 よろしいですか?</p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いい(N)"/> </p> </div> <p>【はい】を押すと指定した文字エンコードに設定します 【いいえ】を押すと設定処理を中止します</p>	値	内容	Shift-JIS	Shift-JIS のバーコードとして読み取りを行います	UTF-8	UTF-8 のバーコードとして読み取りを行います
値	内容							
Shift-JIS	Shift-JIS のバーコードとして読み取りを行います							
UTF-8	UTF-8 のバーコードとして読み取りを行います							
⑤	設定予約	<div data-bbox="758 1724 1228 1825" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> 設定予約 </div> <p>【本体設定 2】タブの内容を本体に反映するよう予約します ※本体への反映は【接続解除】ボタン を押し接続解除したあとに行います</p>						

6.4 本体の設定を行う(3)

【本体設定 3】タブにおける画面各部について、次に説明します

※【本体設定 3】タブは MD801BC/MD802BC 専用の設定を行うためのものです
このタブは MD801BC/MD802BC 接続時にのみ表示します

The screenshot shows the 'Body Setting 3' configuration page. The top navigation bar includes 'CSV 読取データ出力', '本体設定', '本体設定2', '本体設定3' (highlighted), '照合DB作成', and '照合DB確認'. The main content area contains several settings sections, each with a numbered callout (1-10) and a '説明' (Help) link:

- ① **データ送信先**: Radio buttons for '本体' (selected), 'Bluetooth', and '本体とBluetooth'.
- ② **データ送信方法**: Radio buttons for 'HID' (selected), 'SPP', and '専用 dongle'.
- ③ **送信失敗データ保存**: Radio buttons for '有効' (selected) and '無効'.
- ④ **自動再接続**: Radio buttons for '有効' (selected) and '無効'.
- ⑤ **送信遅延(文字間)**: Radio buttons for '0ms' (selected), '8ms', and '16ms', plus a 'カスタム' option with a text input field and 'ms' unit.
- ⑥ **送信遅延(コード間)**: Radio buttons for '0ms' (selected), '100ms', and '300ms', plus a 'カスタム' option with a text input field and 'ms' unit.
- ⑦ **区切り文字**: Radio buttons for 'カンマ' (selected), 'タブ', and 'なし'.
- ⑧ **末端文字**: Radio buttons for '改行' (selected), 'タブ', '空白', and 'なし'.
- ⑨ **送信結果付加**: Radio buttons for '有効' (selected) and '無効'.
- ⑩ **設定予約**: A gear icon and the text '設定予約'.

項番	各部名称	説明								
①	データ送信先	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> データ送信先 <input checked="" type="radio"/> 本体 <input type="radio"/> Bluetooth <input type="radio"/> 本体とBluetooth </div> <p>読み取ったデータの送信先を指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">値</th> <th style="background-color: #ffff00;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体</td> <td>データを本体に保存します</td> </tr> <tr> <td>Bluetooth</td> <td>データを Bluetooth 送信します</td> </tr> <tr> <td>本体と Bluetooth</td> <td>データを本体に保存し且つ Bluetooth 送信します</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	本体	データを本体に保存します	Bluetooth	データを Bluetooth 送信します	本体と Bluetooth	データを本体に保存し且つ Bluetooth 送信します
値	内容									
本体	データを本体に保存します									
Bluetooth	データを Bluetooth 送信します									
本体と Bluetooth	データを本体に保存し且つ Bluetooth 送信します									
②	データ送信方法	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> データ送信方法 <input checked="" type="radio"/> HID <input type="radio"/> SPP <input type="radio"/> 専用 dongle </div> <p>データを Bluetooth 送信するときの送信方法を指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">値</th> <th style="background-color: #ffff00;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HID</td> <td>HID 送信を行います</td> </tr> <tr> <td>SPP</td> <td>SPP 送信を行います</td> </tr> <tr> <td>専用 dongle</td> <td>専用 dongle に接続し送信を行います</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	HID	HID 送信を行います	SPP	SPP 送信を行います	専用 dongle	専用 dongle に接続し送信を行います
値	内容									
HID	HID 送信を行います									
SPP	SPP 送信を行います									
専用 dongle	専用 dongle に接続し送信を行います									
③	送信失敗データ保存	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 送信失敗データ保存 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 </div> <p>Bluetooth 送信失敗したデータを本体に保存するかどうかを指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">値</th> <th style="background-color: #ffff00;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>保存します</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>保存しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	保存します	無効	保存しません		
値	内容									
有効	保存します									
無効	保存しません									
④	自動再接続	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 自動再接続 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 </div> <p>Bluetooth 切断状態からの自動再接続を行うかどうかを指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">値</th> <th style="background-color: #ffff00;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>自動再接続します</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>自動再接続しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	自動再接続します	無効	自動再接続しません		
値	内容									
有効	自動再接続します									
無効	自動再接続しません									

項番	各部名称	説明										
⑤	送信遅延(文字間)	<div data-bbox="657 219 1334 318" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 送信遅延(文字間) <input checked="" type="radio"/> 0ms <input type="radio"/> 8ms <input type="radio"/> 16ms <input type="radio"/> カスタム <input style="border: 1px solid red; width: 40px; height: 15px;" type="text"/> ms </div> <div data-bbox="1070 349 1374 407" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 遅延時間入力欄 </div> <p>文字間における送信遅延時間を指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0ms</td> <td>遅延時間を 0ms にします</td> </tr> <tr> <td>8ms</td> <td>遅延時間を 8ms にします</td> </tr> <tr> <td>16ms</td> <td>遅延時間を 16ms にします</td> </tr> <tr> <td>カスタム</td> <td>遅延時間を入力します ※遅延時間は <u>0~99</u> の範囲で指定します</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	0ms	遅延時間を 0ms にします	8ms	遅延時間を 8ms にします	16ms	遅延時間を 16ms にします	カスタム	遅延時間を入力します ※遅延時間は <u>0~99</u> の範囲で指定します
値	内容											
0ms	遅延時間を 0ms にします											
8ms	遅延時間を 8ms にします											
16ms	遅延時間を 16ms にします											
カスタム	遅延時間を入力します ※遅延時間は <u>0~99</u> の範囲で指定します											
⑥	送信遅延(コード間)	<div data-bbox="657 860 1334 958" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 送信遅延(コード間) <input checked="" type="radio"/> 0ms <input type="radio"/> 100ms <input type="radio"/> 300ms <input type="radio"/> カスタム <input style="border: 1px solid red; width: 40px; height: 15px;" type="text"/> ms </div> <div data-bbox="1062 990 1366 1048" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 遅延時間入力欄 </div> <p>コード間における送信遅延時間を指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0ms</td> <td>遅延時間を 0ms にします</td> </tr> <tr> <td>100ms</td> <td>遅延時間を 100ms にします</td> </tr> <tr> <td>300ms</td> <td>遅延時間を 300ms にします</td> </tr> <tr> <td>カスタム</td> <td>遅延時間を入力します ※遅延時間は <u>0~9999</u> の範囲で指定します</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	0ms	遅延時間を 0ms にします	100ms	遅延時間を 100ms にします	300ms	遅延時間を 300ms にします	カスタム	遅延時間を入力します ※遅延時間は <u>0~9999</u> の範囲で指定します
値	内容											
0ms	遅延時間を 0ms にします											
100ms	遅延時間を 100ms にします											
300ms	遅延時間を 300ms にします											
カスタム	遅延時間を入力します ※遅延時間は <u>0~9999</u> の範囲で指定します											
⑦	区切り文字	<div data-bbox="754 1507 1235 1606" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 区切り文字 <input checked="" type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> なし </div> <p>バーコードデータと時刻等付加データとの区切り文字を指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カンマ</td> <td>カンマで区切ります</td> </tr> <tr> <td>タブ</td> <td>タブで区切ります</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>区切り文字を使用しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	カンマ	カンマで区切ります	タブ	タブで区切ります	なし	区切り文字を使用しません		
値	内容											
カンマ	カンマで区切ります											
タブ	タブで区切ります											
なし	区切り文字を使用しません											

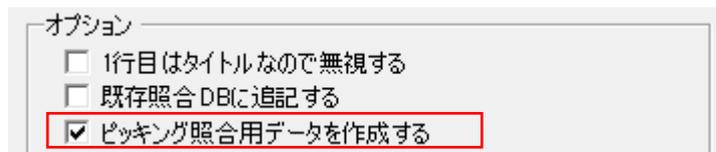
項番	各部名称	説明										
⑧	末端文字	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 末端文字 <input checked="" type="radio"/> 改行 <input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> 空白 <input type="radio"/> なし </div> <p>バーコードデータ保存時に付加する末端文字を指定します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改行</td> <td>改行を付加します</td> </tr> <tr> <td>タブ</td> <td>タブを付加します</td> </tr> <tr> <td>空白</td> <td>空白を付加します</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>末端文字を付加しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	改行	改行を付加します	タブ	タブを付加します	空白	空白を付加します	なし	末端文字を付加しません
値	内容											
改行	改行を付加します											
タブ	タブを付加します											
空白	空白を付加します											
なし	末端文字を付加しません											
⑨	送信結果付加	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 送信結果付加 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 </div> <p>バーコードデータ保存時に Bluetooth 送信結果(送信成功時は「O」、送信失敗時は「X」)を付加するか指定します ※データ送信先が「本体」のみのときは「O」を付加します</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>送信結果を付加します</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>送信結果を付加しません</td> </tr> </tbody> </table>	値	内容	有効	送信結果を付加します	無効	送信結果を付加しません				
値	内容											
有効	送信結果を付加します											
無効	送信結果を付加しません											
⑩	設定予約	<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 設定予約 </div> <p>【本体設定 3】タブの内容を本体に反映するよう予約します ※本体への反映は【接続解除】ボタン を押し接続解除したあとに行います</p>										

6.5 本体に照合 DB/ピッキング照合用データを作成する

照合 DB は「DB 照合」、「ピッキング照合」あるいは「データベース参照」を行うときに使用します（「DB 照合」、「ピッキング照合」あるいは「データベース参照」については、お使いのデータコレクタのユーザーマニュアルを参照してください）。

照合 DB は文字エンコード Shift-JIS あるいは UTF-8 のどちらかで作成します。Shift-JIS と UTF-8 のデータを混在させることはできません。

ピッキング照合用データは照合 DB 作成時に「ピッキング照合用データを作成する」オプションを指定することで作成できます。このオプションはピッキング照合に対応したデータコレクタを PC に接続したときに指定することができます。



6.5.1 照合 DB/ピッキング照合用データ作成元ファイル

(1) ファイル形式

照合 DB/ピッキング照合用データ作成元のファイルは、検索キーと関連データを「,」（カンマ）で区切った CSV 形式のテキストファイル（文字エンコード Shift-JIS あるいは UTF-8）です。

検索キーおよび関連データ中に改行コード等の制御コードを含むときはそれぞれのデータを「”」（ダブルクォート）で括ってください。

次に作成元ファイルとなる CSV ファイルのサンプルを示します。

このサンプルの先頭にはタイトル行があり、実際のデータは 2 行目以降になります（タイトル行はなくても構いません）。

作成元ファイルの各行は、「商品 ID」、「商品名」、「価格」の 3 種類のデータで構成しています。

ここでは「商品 ID」をバーコードと仮定しているため、検索キーは「商品 ID」になります。

商品 ID, 商品名, 価格			タイトル
10001000,	えんぴつ,	120	DB 登録対象データ
20002000,	ボールペン,	200	
30003000,	消しゴム,	150	
40004000,	ノート,	300	
50005000,	はさみ,	400	
60006000,	のり,	500	
検索キー		関連データ	

検索キーである「商品 ID」以外の「商品名」と「価格」は、検索キーに関連するデータとみなします。
照合 DB では、ひとつの検索キーに対し、ひとつの関連データを登録できます。
今回のように関連データがふたつ(商品名と価格)ある場合、ふたつのデータを連結し関連データとして登録します。
商品名「えんぴつ」を例にとると、商品 ID「10001000」の関連データは「えんぴつ, 120」になります。

ピックアップ照合において検索キーが同じデータを複数個ピックアップ対象としたいときは、その個数分、同じ検索キーを CSV ファイルに定義しピックアップ照合用データを作成してください。

※同じ検索キーを複数個定義した場合、照合 DB に登録される関連データは、いずれかひとつになります

(2) 長さ制限

照合 DB に登録可能な最大データ長は次のとおりです。

検索キーの最大は 999 バイトです
関連データの最大は 100 バイトです

6.5.2 照合 DB を作成する

【照合 DB 作成】タブにおける画面各部について、次に説明します（※下図は MD801BC/MD802BC 接続時の例です）

作成元ファイル(CSV)

C:\サンプル.csv 参照

CSV

CSVファイルをここにドロップ

作成元内容

検索キー列番号 1

	1	2	3
▶ 1	商品ID	商品名	価格
2	10000000	えんぴつ	120
3	20002000	ボールペン	200
4	30003000	消しゴム	150
5	40004000	ノート	300
6	50005000	はさみ	400
7	00000000	のり	500

オプション

1行目はタイトルなので無視する

既存照合DBに追記する

ピッキング照合用データを作成する

作成元ファイル(CSV)の文字エンコード

Shift-JIS UTF-8

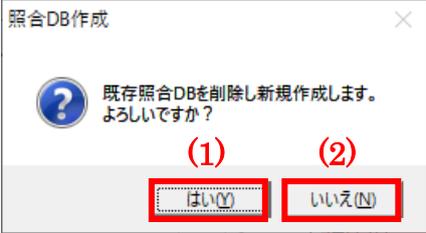
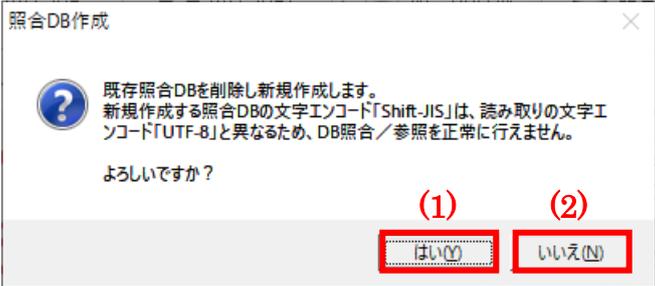
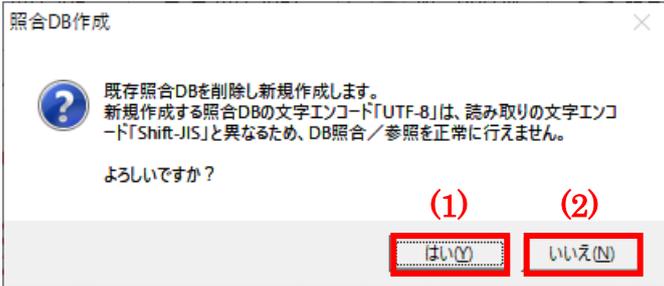
作成

項番	各部名称	説明
①	作成元ファイル	<div data-bbox="651 255 1337 739" data-label="Image"> </div> <p>作成元ファイル(CSV)のファイルパス入力は、次に示すいずれかの方法で行います</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 手入力 作成元となるファイルの手入力ができます (2) 参照入力 作成元ファイル選択ダイアログを使用し入力することができます (3) ドロップ入力 エクスプローラーで作成元ファイルを選択し、この領域にドロップすることで入力することができます

項番	各部名称	説明																								
②	作成元内容	<div data-bbox="625 235 1364 728" data-label="Image"> <thead> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▶ 1 商品ID</td> <td>商品名</td> <td>価格</td> </tr> <tr> <td>2 10001000</td> <td>えんぴつ</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>3 20002000</td> <td>ボールペン</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>4 30003000</td> <td>消しゴム</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>5 40004000</td> <td>ノート</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>6 50005000</td> <td>はさみ</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>7 60006000</td> <td>のり</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </div>	1	2	3	▶ 1 商品ID	商品名	価格	2 10001000	えんぴつ	120	3 20002000	ボールペン	200	4 30003000	消しゴム	150	5 40004000	ノート	300	6 50005000	はさみ	400	7 60006000	のり	500
1	2	3																								
▶ 1 商品ID	商品名	価格																								
2 10001000	えんぴつ	120																								
3 20002000	ボールペン	200																								
4 30003000	消しゴム	150																								
5 40004000	ノート	300																								
6 50005000	はさみ	400																								
7 60006000	のり	500																								

項番	各部名称	説明
③	オプション	<div data-bbox="651 235 1334 474" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="564 526 1034 555">照合 DB 作成時のオプションを指定します</p> <p data-bbox="587 571 992 600">(1) 1 行目はタイトルなので無視する このオプションをチェック☑すると照合 DB に 1 行目を出力しません ※タイトル行が作成元ファイルに存在するときチェックしてください</p> <p data-bbox="587 705 922 734">(2) 既存照合 DB に追記する このオプションをチェック☑すると現在本体にある照合 DB に今回指定した作成元ファイルの内容を追加します ※「ピッキング照合用データを作成する」をチェック☑しているときは、ピッキング照合用データに対しても今回指定した作成元ファイルの内容を追加します ※作成元ファイルは照合 DB と同じ文字エンコードでなければなりません ※作成元ファイルの文字エンコードが照合 DB の文字エンコードと異なるときはこのオプションをチェック☑することはできません(以下の画面を表示します)</p> <p data-bbox="651 1205 1056 1234">【OK】ボタンを押すと画面を閉じます</p> <div data-bbox="663 1261 1327 1505" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="957 1568 1034 1597">または</p> <div data-bbox="667 1637 1321 1881" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="625 1944 1430 2056">このオプションをチェックせずに【作成】ボタンを押すと、現在本体にある照合 DB を削除し、作成元ファイルの内容で新規に照合 DB を作成します</p>

項番	各部名称	説明
		<p>(3) ピッキング照合用データを作成する ※ピッキング照合対応のアプリ接続時に設定可 このオプションをチェック☑するとピッキング照合用データを作成します このオプションをチェックし照合 DB の作成を行うことで、ピッキング照合を行うことができます</p> <p>(4) 作成元ファイル(CSV)の文字エンコード ※バージョン 3.1.1 以降のアプリ接続時に設定可 作成元ファイル(CSV)の文字エンコードを指定します 照合 DB を新規作成するときに指定できます 「既存照合 DB に追記する」をチェック☑しているときは文字エンコードの指定はできません(作成元ファイルは照合 DB と同じ文字エンコードでなければ追記できません)</p>

項番	各部名称	説明
④	作成	<div data-bbox="756 226 1235 322" style="text-align: center;">  </div> <p>作成元の内容を指定したオプションで本体に照合 DB を作成します このボタンを押すと作成確認画面を表示します</p> <p>※注意: 「既存照合 DB に追記する」をチェックせず【作成】ボタンを押すと照合 DB を新規に作成します 照合 DB の新規作成では、本体に保存していた照合 DB およびピッキング照合用データを削除後、照合 DB を新しく作成します</p> <p>a) オプションの「既存照合 DB に追記する」がチェックされていないとき ※新規作成時</p> <div data-bbox="783 869 1209 1102" style="text-align: center;">  </div> <p>読み取りと照合 DB の文字エンコードが異なると、DB 照合／参照において漢字等を含むバーコードデータを正常に扱えないため、次の画面を表示します</p> <div data-bbox="668 1308 1323 1594" style="text-align: center;">  </div> <p>または</p> <div data-bbox="663 1736 1327 2022" style="text-align: center;">  </div>

項番	各部名称	説明
		<p>(1) 【はい】ボタンを押すと作成を開始します 作成が完了すると次の画面を表示します 【OK】ボタンを押すと画面を閉じます</p> <div data-bbox="842 353 1145 593" data-label="Image"> </div> <p>※注意:【OK】ボタンを押すと画面を閉じます</p> <p>(2) 【いいえ】ボタンを押すと作成をキャンセルし次の画面を表示します</p> <div data-bbox="667 784 1324 1048" data-label="Image"> </div> <p>読み取りと照会 DB の文字エンコードが異なるときは次の画面を表示します</p> <div data-bbox="667 1236 1324 1563" data-label="Image"> </div> <p>【OK】ボタンを押すと画面を閉じます</p>

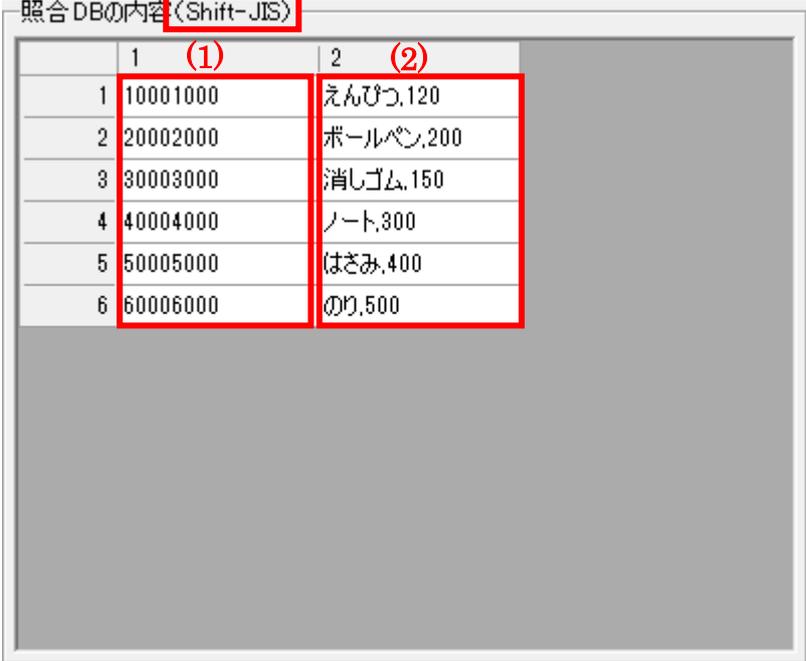
項番	各部名称	説明
		<p>b) オプションの「既存照合 DB に追記する」がチェックされているとき ※追加登録時</p> <div data-bbox="799 324 1193 560" data-label="Image"> </div> <p>(1) 【はい】ボタンを押すと作成を開始します 作成が完了すると次の画面を表示します 次の画面で【OK】ボタンを押すと画面を閉じます</p> <div data-bbox="844 763 1145 999" data-label="Image"> </div> <p>(2) 【いいえ】ボタンを押すと作成をキャンセルし次の画面を表示します 次の画面で【OK】ボタンを押すと画面を閉じます</p> <div data-bbox="667 1140 1326 1406" data-label="Image"> </div>

6.6 本体にある照合 DB の内容を確認する

【照合 DB 確認】タブにおける画面各部について、次に説明します（※下図は MD201/MD202 接続時の例です）

照合DBの内容(Shift-JIS)

	1	2
1	10001000	えんぴつ,120
2	20002000	ボールペン,200
3	30003000	消しゴム,150
4	40004000	ノート,300
5	50005000	はさみ,400
6	60006000	のり,500

項番	各部名称	説明																					
①	照合 DB の内容	<p style="text-align: center;">(3)</p>  <p style="text-align: center;">照合 DB の内容 (Shift-JIS)</p> <table border="1" data-bbox="592 315 1114 607"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 (1)</th> <th>2 (2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10001000</td> <td>えんぴつ, 120</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>20002000</td> <td>ボールペン, 200</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>30003000</td> <td>消しゴム, 150</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>40004000</td> <td>ノート, 300</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>50005000</td> <td>はさみ, 400</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>60006000</td> <td>のり, 500</td> </tr> </tbody> </table> <p>本体に格納している照合 DB の内容を表示します</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 検索キーを表示します (2) 検索キーに関連するデータを表示します (3) 照合 DB の文字エンコード (Shift-JIS または UTF-8) を表示します 		1 (1)	2 (2)	1	10001000	えんぴつ, 120	2	20002000	ボールペン, 200	3	30003000	消しゴム, 150	4	40004000	ノート, 300	5	50005000	はさみ, 400	6	60006000	のり, 500
	1 (1)	2 (2)																					
1	10001000	えんぴつ, 120																					
2	20002000	ボールペン, 200																					
3	30003000	消しゴム, 150																					
4	40004000	ノート, 300																					
5	50005000	はさみ, 400																					
6	60006000	のり, 500																					
②	照合 DB を本体から取り込む	 <p>※このボタンは本体を接続した状態のとき有効になります</p> <p>このボタンを押すと本体に格納している照合 DB の内容を取り込み、照合 DB の内容欄に表示します</p>																					

項番	各部名称	説明
③	取り込んだ照合 DB を CSV として出力する	<div data-bbox="683 226 1311 322" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">  取り込んだ照合DBをCSVとして出力する </div> <p>※このボタンは照合 DB を本体から取り込んだ状態(照合 DB の内容欄にデータが表示されている状態)のとき有効になります</p> <p>このボタンを押すと保存先を選択する次の画面を表示します</p> <div data-bbox="596 555 1394 1167" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> </div> <p>(1) 【保存】 ボタンを押すと保存先として指定したフォルダに CSV ファイルを出力します 出力する CSV ファイルの先頭には次の内容のタイトルを付加します</p> <div data-bbox="635 1397 1206 1473" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;"> "Barcode","Description" </div> <p>(2) 【キャンセル】 ボタンを押すと保存を中止します</p>

6.7 本体にあるピッキング照合用データの内容を確認する

【ピッキング確認】タブにおける画面各部について、次に説明します

※このタブはピッキング照合用データを作成している MD801BC/MD802BC 接続時に表示します

読取データ出力 | 本体設定 | 本体設定2 | 本体設定3 | 照合DB作成 | 照合DB確認

ピッキング確認

ピッキングデータを本体から取り込む ②

取り込んだデータをCSVとして出力する ④

取り込み対象データ

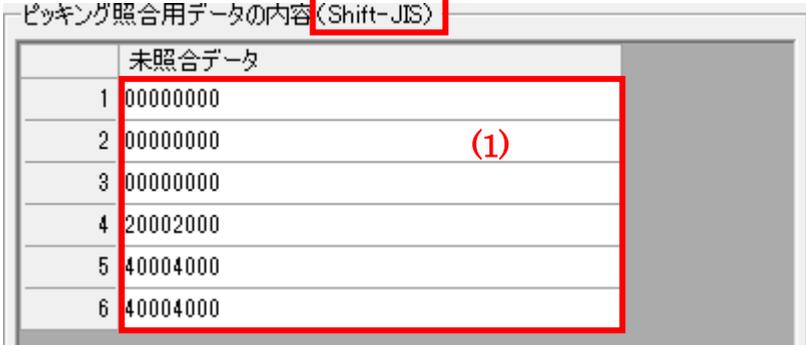
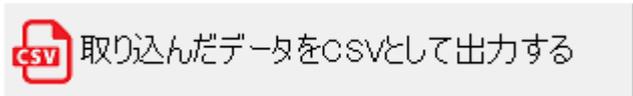
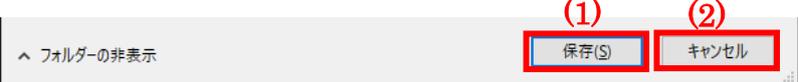
- ピッキング未照合データのみ
- 全データ
- 同一照合用データを1行にまとめて表示する ①

ピッキング照合用データの内容 (Shift-JIS)

未照合データ	
1	00000000
2	20002000
3	40004000

③

項番	各部名称	説明								
①	取り込み対象データ	<div data-bbox="678 271 1310 443" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>取り込み対象データ</p> <p><input checked="" type="radio"/> ピッキング未照合データのみ</p> <p><input type="radio"/> 全データ</p> <p><input type="checkbox"/> 同一照合用データを1行にまとめて表示する</p> </div> <p>取り込み対象データを選択します</p> <table border="1" data-bbox="564 551 1425 965"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピッキング未照合データのみ</td> <td>ピッキング照合をまだ行っていない(未照合)データのみ取り込みます</td> </tr> <tr> <td>全データ</td> <td>ピッキング照合済みあるいは未照合に関係なく、ピッキング照合用データとして作成している全データを取り込みます</td> </tr> <tr> <td>同一照合用データを1行にまとめて表示する</td> <td>同一照合用データを1行にまとめ、併せて同一だった件数を表示します</td> </tr> </tbody> </table> <p>ピッキング照合用データの内容欄に取り込みデータが表示された状態で、内容欄とは異なる取り込み対象データを選択しようとする、次の画面を表示します</p> <div data-bbox="667 1189 1326 1458" style="border: 1px solid gray; padding: 10px;"> <p>取り込み対象データ ×</p> <p> 取り込み対象データを変更すると既に取り込んでいるデータの内容をクリアします。</p> <p>よろしいですか？</p> <p style="text-align: right;"> (1) はい (2) いいえ </p> </div> <p>(1) 【はい】ボタンを押すとピッキング照合用データの内容欄をクリアします (2) 【いいえ】ボタンを押すと操作をキャンセルします</p>	値	内容	ピッキング未照合データのみ	ピッキング照合をまだ行っていない(未照合)データのみ取り込みます	全データ	ピッキング照合済みあるいは未照合に関係なく、ピッキング照合用データとして作成している全データを取り込みます	同一照合用データを1行にまとめて表示する	同一照合用データを1行にまとめ、併せて同一だった件数を表示します
値	内容									
ピッキング未照合データのみ	ピッキング照合をまだ行っていない(未照合)データのみ取り込みます									
全データ	ピッキング照合済みあるいは未照合に関係なく、ピッキング照合用データとして作成している全データを取り込みます									
同一照合用データを1行にまとめて表示する	同一照合用データを1行にまとめ、併せて同一だった件数を表示します									
②	ピッキングデータを本体から取り込む	<div data-bbox="678 1688 1310 1787" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">  ピッキングデータを本体から取り込む </div> <p>このボタンを押すと本体に格納しているピッキング照合用データを取り込み、ピッキング照合用データの内容欄(③)に表示します ※①で指定した取り込み対象データを表示します</p>								

項番	各部名称	説明
③	ピッキング照合用データの内容	<p>本体から取り込んだピッキング照合用データの内容を表示します</p> <p>▼同一照合データを複数行で表示するとき</p> <p>(2)</p>  <p>▼同一照合データを1行で表示するとき(※「件数」欄を追加し表示)</p> <p>(2)</p>  <p>(1) 取り込んだピッキング照合用データを表示します</p> <p>(2) ピッキング照合用データ作成時の照合 DB の文字エンコード (Shift-JIS または UTF-8) を表示します</p>
④	取り込んだデータを CSV として出力する	 <p>※このボタンはピッキング照合用データを本体から取り込んだ状態(ピッキング照合用データの内容欄にデータが表示されている状態)のとき有効になります</p> <p>このボタンを押すと保存先を選択する画面を表示します</p>  <p>(1) 【保存】 ボタンを押すと保存先として指定したフォルダに TXT ファイルを出力します</p> <p>(2) 【キャンセル】 ボタンを押すと保存を中止します</p>